

令和 7 年度日本臨床検査標準協議会（JCCLS）

外部精度管理調査報告書

令和 8 年（2026 年）1 月 30 日

JCCLS 小規模検査室を対象とした外部精度管理調査委員会

委員長 高木 康 (*JCCLS* 会長)

委員 石橋みどり (*JCCLS* 常任理事、新東京病院 検査部)
篠原 克幸 (*JCCLS* 多項目実用参照物質委員会)
常名 政弘 (*JCCLS* 常任理事、東京大学医学部附属病院 検査部)
滝野 寿 (つくば臨床検査教育・研究センター)
保知戸和憲 (*JCCLS* 監事、日本衛生検査所協会)
堀田多恵子 (*JCCLS* 理事、国際医療福祉大学成田病院 臨床検査科)
望月 克彦 (*JCCLS* 理事、日本臨床検査薬協会)
山下 計太 (浜松医科大学医学部附属病院 検査部)

技術専門委員

安部 正義 (アークレイマーケティング株式会社)
石田真志保 (シスメックス株式会社)
金子 武行 (オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社)
黒川智佳子 (日本光電工業株式会社)
齊藤 憲祐 (株式会社堀場製作所)
寺川 和秀 (富士フィルム株式会社)

事務局 松林 直、清水 由喜、植田 成

目次

患者診療に重要な精確な検体検査成績のために	4
調査概要	6
項目レポート	
1. 総蛋白 (TP)	8
2. アルブミン (Alb)	9
3. クレアチニン (Cre)	10
4. 尿素窒素 (UN)	11
5. 尿酸 (UA)	12
6. アンモニア (NH ₃)	13
7. グルコース (Glu)	14
8. 総コレステロール (TC)	15
9. 中性脂肪 (TG)	16
10. HDL-コレステロール (HDL-C)	17
11. LDL-コレステロール (LDL-C)	18
12. 総ビリルビン (TB)	19
13. 直接ビリルビン (DB)、抱合ビリルビン (CB)	20
14. C反応性蛋白 (CRP)	22
15. アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (AST)	23
16. アラニンアミノトランスフェラーゼ (ALT)	24
17. 乳酸デヒドロゲナーゼ (LD)	25
18. アルカリホスファターゼ (ALP)	26
19. γ -グルタミルトランスフェラーゼ (GGT)	27
20. アミラーゼ (AMY)	28
21. コリンエステラーゼ (ChE)	29
22. クレアチンキナーゼ (CK)	30
23. ナトリウム (Na)	31
24. カリウム (K)	32
25. クロール (Cl)	33
26. マグネシウム (Mg)	34
27. カルシウム (Ca)	35
28. 無機リン (IP)	36
29. 鉄 (Fe)	37
30. 不飽和鉄結合能 (UIBC)	38
31. 白血球数 (WBC)	39
32. 赤血球数 (RBC)	40
33. ヘモグロビン濃度 (Hb)	41
34. ヘマトクリット値 (Ht)	42
35. 血小板数 (PLT)	43

JCCLS 臨床検査外部精度管理調査（令和7年度）

36. 全血CRP	44
37. ヘモグロビンA1c (HbA1c)	45
資料1. 参加施設一覧	46
資料2. 調査試料の測定値変化	49
施設別報告書	別途

患者診療に重要な精確な検体検査成績のために

昭和 33 年（1958 年）衛生検査技師法の制定以降、医療の発展と共に臨床検査に関連する法律・省令が定期的に改変されてきた。検体検査の精度管理・品質保証としては平成 30 年（2018 年）12 月 1 日に「医療法等の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 57 号）」が近年のエポックメーキング的な事象である。この法律は、遺伝子関連・染色体検査を含む検体検査の精度の確保に係る基準として、内部精度管理の実施、外部精度管理調査の受検、及び適切な研修の実施を求めている。内部精度管理の実施はほとんどの検査室で日常的に実施されているが、外部精度管理調査への受検は必ずしも実施されていない。これは我が国で実施されている外部精度管理調査の多くは中規模～大規模検査室の受検には適しているが、小規模検査室の受検には必ずしも適していないためである。この理由として、調査領域が広い（臨床化学検査、血液学検査、免疫血清検査、微生物学検査を網羅）、参加費が高額（50,000 円前後）などの点が指摘されている。

このような現状のなか、将来的に外部精度管理調査の受検が必修化される状況を考え、また現在の医療を支えている臨床検査は診療所・クリニックや小規模病院の小規模検査室で実施されていることから考えると小規模検査室での外部精度管理調査の実施は必須である。特にこの数年「医療 DX」の充実が叫ばれており、臨床検査の互換性の確保・標準化は「医療 DX」を実施する上での重要なポイントの 1 つである。そして、我が国の地域医療を担う中小病院での臨床検査の標準化は避けては通れぬ必要な領域である。臨床検査の置かれているこのような状況を鑑みて、日本臨床検査標準協議会（JCCLS）では、廉価で受検できる外部精度管理調査を実施することにした。臨床化学検査に特化して 3 年後の第 3 回目の昨年度からは血球算定（CBC）とヘモグロビン A1c（HbA1c）を追加し、一般診療での最低限の検体検査項目を調査するシステムとした。

JCCLS 小規模検査室外部精度管理調査には大きな特徴がある。まず、調査試料である。小規模検査室で広く用いられているドライケミストリ法に対応するために、日本赤十字社から提供の献血試料を用いて、大量の調査試料調達のために開発した技術によって生化学検査用の調査試料を作製した。これにより多くの外部精度管理調査で利用されている凍結乾燥などによる試料マトリックスの影響を最小限とすることが可能となった。次に試料到着後の測定までの時間を考慮して、到着後 3 日間の検査値の安定性を検討している。これにより測定時間の変動が測定値に与える影響が明らかとなり、到着後 3 日間の測定であれば、適正な評価を実施できる担保とした。CBC と HbA1c は貧血や糖尿病の診断・コントロールのための重要な指標として迅速な測定が望まれており、小規模検査室で測定値が高い項目である。この CBC と HbA1c の調査試料は、ボランティアから採取した新鮮血液で実施することとした。採血後、冷蔵 5 日間の測定値変化を抑える目的で、EDTA-2K 加血液に赤血球保存液を加えた。ただし、貧血様検体作製時に生理食塩水で希釈したが、十分な栄養補給ができなかつたために白血球数に大きなバラツキが生じた。このため、A、B 評価以外は評価しないこととした。来年度は改善して良好な試料作製を実施したい。

評価方法は本調査固有の基準を設けた。すなわち、種々の測定系が使用されていることを考慮して、大規模調査で利用されているコンセンサス CV の 2 倍を使用して、これから外れている施設が全体の 20% 以上の場合にはそれぞれの区分の集計値を用いて個別に評価する方法とした。

そして、本調査の最大の特徴は、測定報告値の評価とともに報告値に対するフィードバックを記載したことである。外部精度管理調査委員会の委員が、当該検査室が互換性のある検査値とするときの指針を評価欄に記入して、改善の参考とするためである。小規模検査室では検査技師数も少なく必ずしも精度管理に精通していないため、精度管理に精通した本精度管理調査の委員が細かな注意点等を

記載した。参考にしていただきたい。

今年度の参加施設数は 115 施設と昨年度より 15 施設増加した。少しずつではあるが小規模検査室で精度管理調査参加の意義が理解され、全国での自施設の検査成績位置（成績の互換性）の重要性が理解されつつあると期待している。来年度はさらに多くの小規模検査室の参加が期待でき、厚生労働省医療関連サービス室も本調査に期待して応援のメッセージを送って頂いている。生化学検査に CBC・HbA1c を組み入れたことによって、クリニック等で実施する主な検体検査をカバーできると考えている。今後本調査の有用性を周知し、より多くの施設に参加していただき、我が国の検査の精度管理に貢献すべく努力するつもりである。忌憚ないご意見を賜れば幸甚である。（高木 康）

調査概要

1) 調査試料

臨床化学検査の試料は、日本臨床検査標準協議会が颁布する「多項目実用参照物質(MacRM-002)¹⁾」を基本処方として高・低2試料を作製した。試料1は健康に近い状態を模し、試料2は不健康状態を模した成分濃度とした。日赤献血液をプールした検査残余血清が主原料の−70°C以下冷凍保存品である。MacRM-002の作製工程に次の2点を追加した。① アンモニア測定を調査対象とすることから、9倍量の電解溶液(Na:140 mmol/L, K:4.0 mmol/L, Cl:110 mmol/L)を加え限外濾過によってアンモニア濃度を低減させた。② 限外濾過工程によって除かれる懸念があるピリドキサールリン酸(10 μmol/L)を添加した。

血液検査の試料は、令和7年11月17日（月）に2名のボランティアから採取した新鮮血液とした。EDTA-2Kにて抗凝固した血液に、それぞれ1/10量のMAP液を添加した。試料3は精製CRP抗原を加え1.8 mLずつ分注し、試料4は精製CRP抗原とさらに生理食塩水を加え1.8 mLずつ分注した。

2) 試料配布方法

臨床化学検査用試料は令和7年11月17日（月）に融解し、同日に調整した血液検査用試料と共に、11月19日（水）にすべての参加施設に到着するようクール便を利用して発送した。試料到着日は、事前に通知した。

3) 測定

試料融解後の測定値変化が評価に影響することを最小限にするため、令和7年11月19日（水）～11月21日（金）に測定することを事前に依頼した。そして、この期間の各成分の経時的変動をJCCLSでも追跡して確認した。

4) 回答締切

令和7年11月26日（水）を回答期限とした。

5) 参加施設（資料1）

事前の実施案内の周知が十分とはいはず、参加施設は合計113施設（生化学検査：98、血液検査：105）であった。病院・診療所が80施設、衛生検査所が20施設、試薬・機器メーカーが13施設であった。病院・診療所80施設のうち、衛生検査所が運営するプランチラボが40施設であった。一部のメーカーからは複数の測定系の回答を得たので、回答総数は115となった。また、調査試料の目標値を設定するためにレファランスラボ16施設に依頼した。

6) 試料の均質性（資料2）

臨床化学用の調査試料は、安定化剤を含まず臨床検体と同様の経時的変化を認める。最終調整（融解）から測定まで2～4日間を経るので、その間の測定値変化を確認したところ、評価に影響するほどの測定値変化は認めなかった。血液検査用の調査試料は、赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値およびヘモグロビンA1cに大きな測定値変化は認めなかった。白血球数および血小板数については、時間経過とともに測定値の低下傾向を認めた。

7) 統計解析（統計表）

項目ごとに一括集計をおこなった。小数点の入力誤り、試料の取り違いなど、本来の測定値でないもの（ハズレ値と称する）が混入すると、データ集計を大きく歪める。測定値は正規分布するといわれており、平均値±3×標準偏差(SD)を超える確率は0.3%であることから、平均値±3SDを超える回答値をハズレ値とみなし1回除外した。さらに、3施設以上^{*1}の回答があった方法・試薬について個

別に集計した。ハズレ値の除外は独立しておこなうので、除外数の合計は必ずしも一致しない。

※1：当初5施設以上としていたが、参加数が少なかったため、3施設以上に変更した。

8) 箱ひげ図

統計表区分と同じ元データを用いて作図した。2つの箱は、25パーセンタイル（測定値順に並べ低値から25%に相当する測定値）と中央値（測定値順に並べ低値から50%に相当する測定値）、中央値と75パーセンタイル（測定値順に並べ低値から75%に相当する測定値）を示す。この箱が示す範囲に全体の半分の測定値が分布する。ひげの先端は、統計解析でのハズレ値を除外した最小値と最大値を表す。測定値目盛に重ねている緑色あるいは青色の帯は許容範囲を示す。

9) 評価基準

本調査では、測定値が診療に有效地に利用される精度を有するか否かを評価する。日本医師会は、診療上許容できる測定値の誤差をコンセンサス CV（変動係数：標準偏差 / 平均値）として定義している。このコンセンサス CV を基本的な評価基準として、方法・試薬の区別なく評価を試みた。統計解析の CV がコンセンサス CV を超える項目は、測定技術が不足しており統計表の CV を評価用 CV とする。ただし、コンセンサス CV の2倍を限度とする。次に、正確さを確認し16施設の共同実験で得た目標値に評価用 CV を乗じて、評価用 SD を算出した。ただし、試薬によって新鮮血清と本調査試料の反応性が乖離する HDL-コレステロールおよび LDL-コレステロールについては、目標値が試薬別に設定されるので、試薬別評価となる。目標値と回答平均値に、コンセンサス CV の1/2を超える乖離がみられる項目は、回答平均値を評価基準とした。さらに、測定値の表現桁による最小誤差（5.1のように小数第一位で報告する検査項目は0.1）と比較して大きい方を評価用 SD とした。ただし、表現桁に多様性がある尿素窒素は0.5 mg/dL、クレアチニンとCRPは0.05 mg/dLを最小誤差とした。

目標値-2×評価用 SD を下限、目標値+2×評価用 SD を上限として、測定値の許容範囲を算出した。目標値、評価用 SD ともに通常利用されている小数桁より1桁多く計算するので、不当な評価を避けるために、0.5または0.05を限度として下限値は切り下げ、上限値は切り上げた。これによつて、許容下限が6.4の場合の回答値6は許容となる。

目標値からの離れ度合い SDI（標準偏差インデックス）は、許容下限が SDI-2.00、許容上限が SDI+2.00 となるように算出し、補正 SDI とした。補正 SDI が-1.00～+1.00 の回答を「評価 A」、補正 SDI が-2.00～-1.01 または+1.01～+2.00 の回答を「評価 B」とした。ともに精度保証状態にある。補正 SDI が-3.00～-2.01 または+2.01～+3.00 の回答を「評価 C」、さらに離れた回答を「評価 D」とした。同じ方法・試薬で「評価 C」「評価 D」が20%以上の場合、試料の性状に起因する可能性があるので、それぞれの区分の集計値を用いて個別評価をおこなった。個別評価した方法・試薬については、統計表の数値部分を斜体で示し、箱ひげ図の箱を白抜きとした。この場合、「評価 A」「評価 B」「評価 C」「評価 D」と記載した。個別評価できるのは、回答数3以上の方法・試薬に限られ、回答数3に満たない方法・試薬は「評価-」とした。白血球数について、経時的に低値化する傾向が認められたため「評価 A」「評価 B」以外の低値回答は「評価-」とした。

※2：調査試料の主原料は採取から時間経過した血清であること、最小限に留めるとはいえ加工を施すことから、反応性が新鮮検体と乖離する可能性がある。

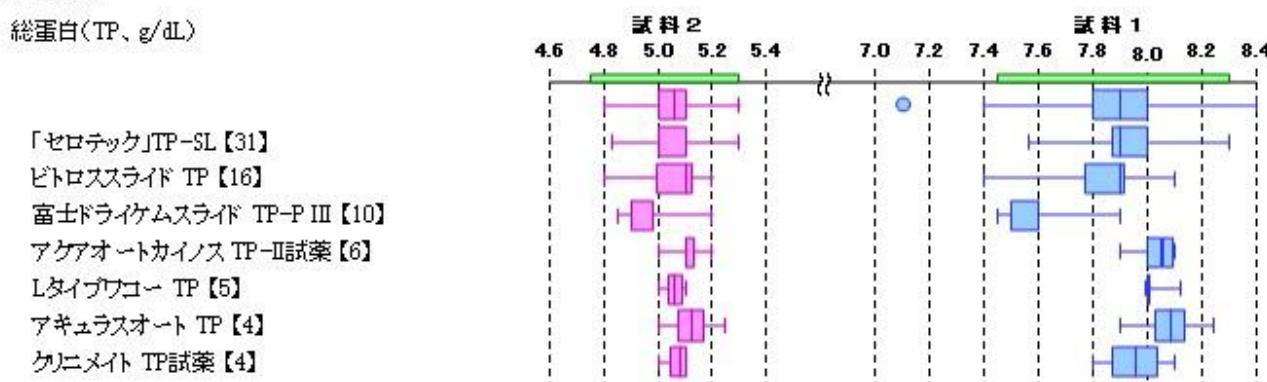
1) 篠原克幸, 前川真人, 濱崎直孝, 他: 臨床化学・免疫化学30項目の正確さ評価用試料「JCCLS 多項目実用参考物質-002(MacRM-002)」の有用性、臨床病理 67(4):315-321, 2019.

1. 総蛋白(TP)

1) 統計表

項目名(略号、単位)	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
総蛋白(TP、g/dL)	88	5.04	0.11	2.1%		87	7.88	0.20	2.6%	1
「ゼロテック」TP-SL	31	5.04	0.10	1.9%		31	7.94	0.14	1.8%	
ピトロスライド TP	16	5.06	0.12	2.3%		16	7.83	0.17	2.2%	
富士ドライケムスライド TP-P III	10	4.95	0.10	2.0%		10	7.60	0.13	1.7%	
アケアオートカイノス TP-II試薬	6	5.11	0.07	1.3%		6	8.04	0.08	1.0%	
Lタイプワコー TP	5	5.06	0.04	0.8%		5	8.02	0.05	0.7%	
アキュラスオート TP	4	5.12	0.10	2.0%		4	8.08	0.14	1.8%	
クリニメイト TP試薬	4	5.07	0.05	0.9%		4	7.95	0.13	1.6%	
<目標値>		4.97					8.01			

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別	
										-	-	-	-	計	
総蛋白 (g/dL)	1	8.01	7.88	2.5	2.6	0.20	0.1	7.45	8.30	59	23	1		5	88
総蛋白 (g/dL)	2	4.97	5.04	2.5	2.1	0.13	0.1	4.75	5.30	74	14				88

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告桁に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

2. アルブミン(Alb)

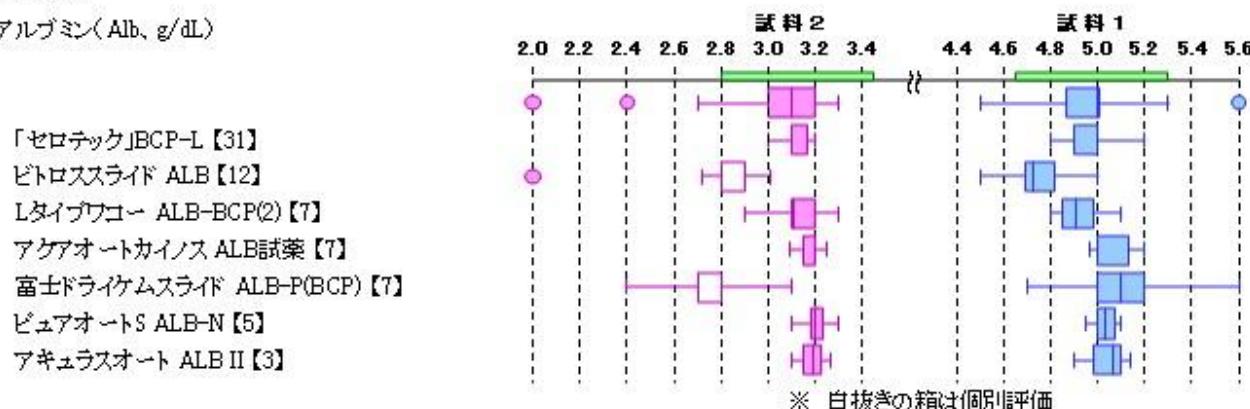
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アルブミン(Alb, g/dL)	79	3.06	0.16	5.2%	2	80	4.94	0.16	3.3%	1
「ゼロテック」BCP-L	31	3.11	0.06	2.0%		31	4.97	0.10	2.0%	
ビトロスライド ALB	11	2.84	0.08	2.8%	1	12	4.75	0.13	2.8%	
Lタイプワゴー ALB-BCP(2)	7	3.13	0.13	4.0%		7	4.92	0.11	2.2%	
アケアオートカイノス ALB試薬	7	3.18	0.06	1.9%		7	5.06	0.10	1.9%	
富士ドライケムスライド ALB-P(BCP)	7	2.74	0.21	7.5%		7	5.11	0.28	5.5%	
ピュアオートS ALB-N	5	3.20	0.07	2.3%		5	5.03	0.06	1.2%	
アキュラスオート ALB II	3	3.19	0.08	2.6%		3	5.03	0.12	2.4%	
<目標値>		3.12					4.97			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

アルブミン(Alb, g/dL)



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 試料 個別評価の内訳	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別
			評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用								-
アルブミン (g/dL)	1	4.97	4.94	2.5	3.3	0.16	0.1	4.65	5.30	55	19	2	1
アルブミン (g/dL)	2	3.12	3.06	5.0	5.2	0.16	0.1	2.80	3.45	56	6		19
ビトロス	2		2.84	5.0	2.8	0.14	0.1	2.55	3.15	10	1	1	
富士ドライケム	2		2.74	5.0	7.5	0.21	0.1	2.30	3.20	5	2		

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

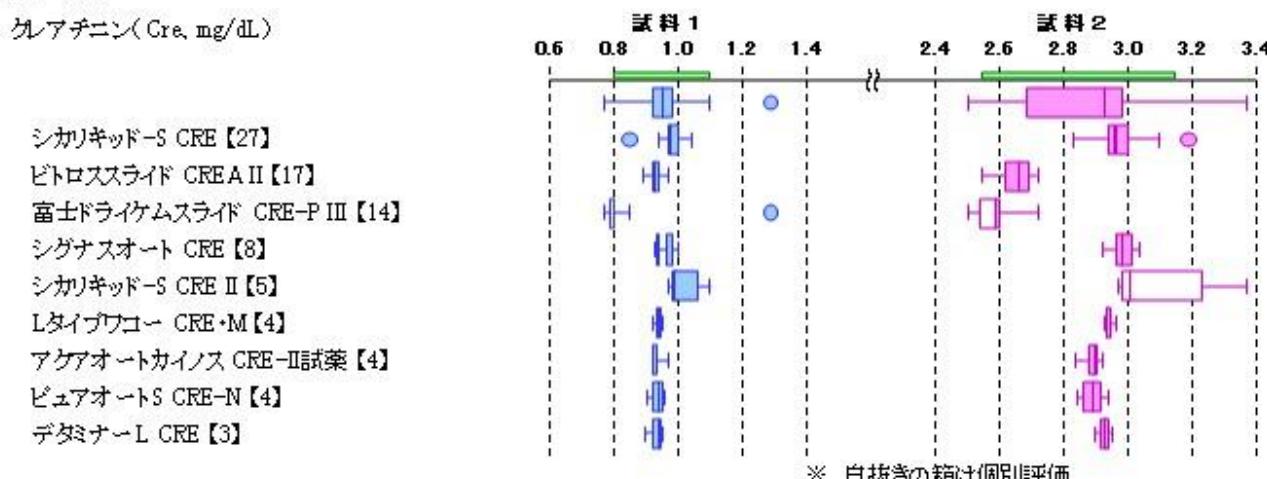
3. クレアチニン(Cre)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
クレアチニン(Cre, mg/dL)	94	0.94	0.07	7.7%	1	95	2.86	0.19	6.7%	
シカリキッド-S CRE	26	0.98	0.02	2.3%	1	26	2.96	0.06	2.0%	1
ピトロスライド CREA II	17	0.93	0.02	2.3%		17	2.64	0.05	2.0%	
富士ドライケムスライド CRE-P III	I3	0.80	0.02	2.3%	I	I3	2.59	0.06	2.3%	I
シグナスオート CRE	8	0.97	0.02	2.2%		8	2.98	0.04	1.3%	
シカリキッド-S CRE II	5	1.02	0.06	5.6%		5	3.11	0.18	5.8%	
Lタイプワゴー CRE・M	4	0.94	0.01	1.3%		4	2.94	0.02	0.5%	
アケアオートカイノス CRE-II試薬	4	0.93	0.03	2.7%		4	2.89	0.03	1.2%	
ピュアオートS CRE-N	4	0.94	0.03	2.7%		4	2.89	0.04	1.5%	
デタミナーL CRE	3	0.93	0.03	2.8%		3	2.93	0.03	0.9%	
<目標値>		0.96					2.97			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用			評価には 網掛を採用	下限	上限	A	B	C	D	
				評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						個 別	-	計		
クレアチニン (mg/dL)	1	0.96	0.94	5.0	7.7	0.07	0.05	0.80	1.10	73	8	14		95	
富士ドライケム	1		0.80	5.0	2.3	0.04	0.05	0.70	0.90	13	1			14	
クレアチニン (mg/dL)	2	2.97	2.86	2.5	(6.7) 5.0	0.14	0.05	2.55	3.15	48	25	1	19	2	95
富士ドライケム	2		2.59	2.5		0.06	0.05	2.45	2.75	10	3	1			14
シカリキッド-S II	2		3.14	2.5	(6.3) 5.0	0.16	0.05	2.80	3.50	4	1				5

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

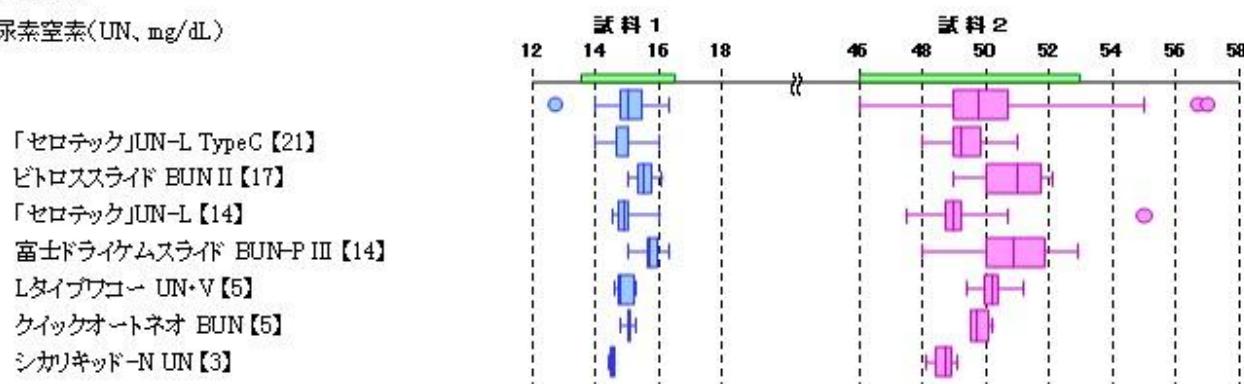
4. 尿素窒素(UN)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
尿素窒素(UN、mg/dL)	94	15.1	0.5	3.4%	1	93	49.9	1.3	2.7%	2
「ゼロテック」JUN-L TypeC	21	15.0	0.5	3.1%		21	49.3	0.7	1.5%	
ピトロスライド BUN II	17	15.5	0.4	2.4%		17	50.9	1.0	1.9%	
「ゼロテック」JUN-L	14	14.9	0.4	2.6%		13	49.1	0.9	1.8%	1
富士ドライケムスライド BUN-P III	14	15.7	0.4	2.5%		14	50.9	1.4	2.7%	
Lタイプワゴー UN・V	5	14.9	0.3	2.0%		5	50.2	0.7	1.3%	
クイックオートネオ BUN	5	15.0	0.2	1.1%		5	49.8	0.3	0.7%	
シカリキッド-N UN	3	14.5	0.1	0.7%		3	48.6	0.5	1.0%	
<目標値>		14.9					49.5			

2) 箱ひげ図

尿素窒素(UN、mg/dL)



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				日医*	集計**					A	B	C	D	個 別	
				評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	下限	上限						-	計
尿素窒素 (mg/dL)	1	14.9	15.1	5.0	3.4	0.7	0.5	13.5	16.5	77	17			1	95
尿素窒素 (mg/dL)	2	49.5	49.9	2.5	2.7	1.3	0.5	46.5	52.5	75	14	2	1	3	95

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告行に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

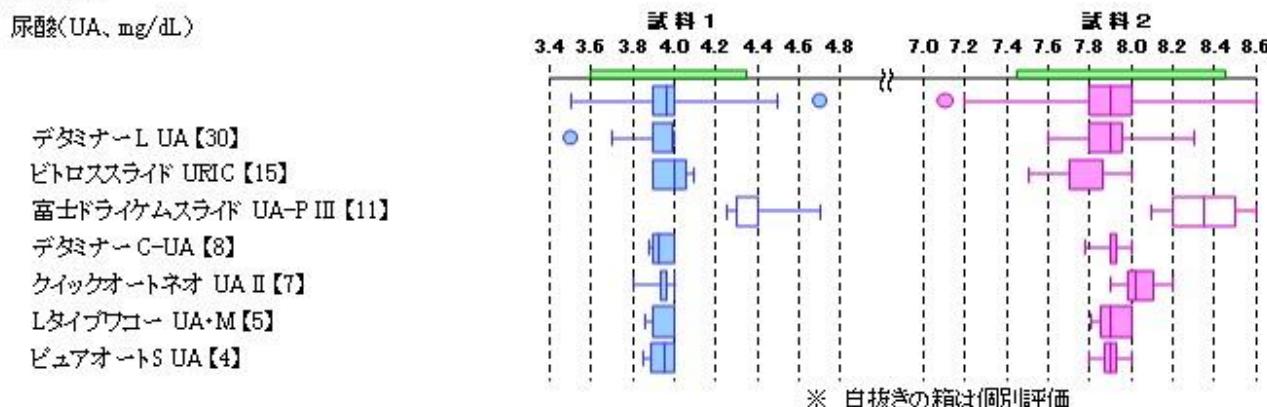
5. 尿酸(UA)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
尿酸(UA、mg/dL)	87	3.98	0.17	4.2%	1	86	7.93	0.23	3.0%	2
デタミナーL UA	30	3.90	0.08	2.0%		30	7.89	0.14	1.8%	
ピトロスライド URIC	15	3.99	0.08	2.0%		15	7.76	0.15	1.9%	
富士ドライケムスライド UA-P III	II	4.38	0.13	3.0%		II	8.36	0.17	2.0%	
デタミナーC-UA	8	3.94	0.05	1.3%		8	7.91	0.07	0.9%	
クイックオートネオ UA II	7	3.95	0.07	1.9%		7	8.04	0.10	1.3%	
Lタイプワゴー UA・M	5	3.95	0.07	1.7%		5	7.91	0.09	1.1%	
ピュアオートS UA	4	3.94	0.08	1.9%		4	7.90	0.08	1.1%	
<目標値>		3.93					7.94			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個 別	
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	下限	上限	個 別	-	計			
尿酸 (mg/dL)	1	3.93	3.98	2.5	4.2	0.17	0.1	3.60	4.35	74	2	1	11	88	
富士ドライケム	1		4.38	2.5	3.0	0.13	0.1	4.10	4.65	10	1			11	
尿酸 (mg/dL)	2	7.94	7.93	2.5	3.0	0.24	0.1	7.45	8.45	67	7		11	3	88
富士ドライケム	2		8.36	2.5	2.0	0.21	0.1	7.90	8.80	9	2				11

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

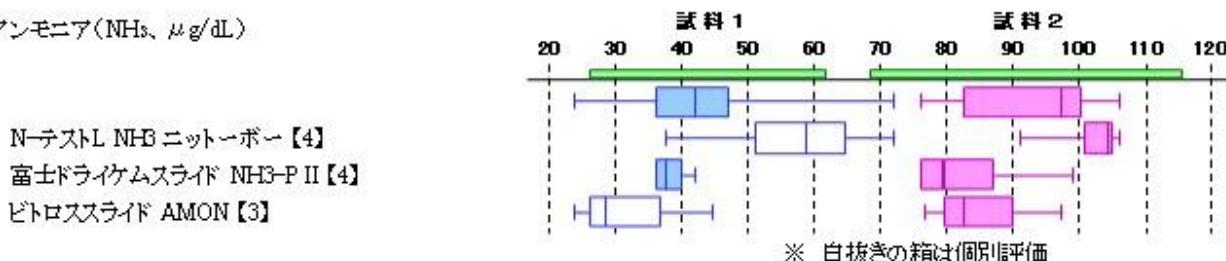
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

6. アンモニア (NH₃)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アンモニア(NH ₃ 、μg/dL)	13	43.8	13.2	30.2%		13	91.9	11.6	12.6%	
N-テストL NH ₃ ニットーポー	4	56.8	14.5	25.6%		4	101.4	7.0	6.9%	
富士ドライケムスライド NH ₃ -P II	4	38.3	2.9	7.5%		4	83.5	10.8	13.0%	
ピトロススライド AMON	3	32.3	10.9	33.8%		3	85.5	10.7	12.5%	
<目標値>		53.1					99.8			

2) 箱ひげ図

アンモニア(NH₃、μg/dL)

3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	下限	上限	個 別	-	計		
アンモニア (μg/dL)	1	53.1	43.8	10.0	(30.2)20.0	8.8	1	26.0	61.5	6		7	13	
N-テストL ニットーポー	1		56.8	10.0	(25.6)20.0	11.4	1	34.0	80.0	2	2		4	
ピトロス	1		32.3	10.0	(33.8)20.0	6.5	1	19.0	45.5	1	2		3	
アンモニア (μg/dL)	2		99.8	91.9	10.0	12.6	11.6	1	68.5	115.5	7	6		13

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

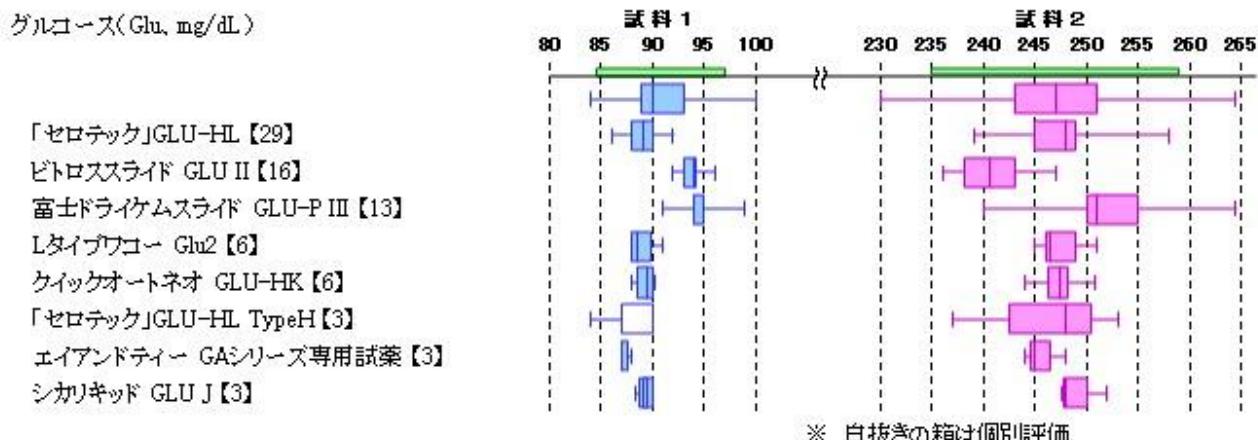
7. グルコース(Glu)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
グルコース(Glu, mg/dL)	92	90.7	3.1	3.4%		92	247.1	6.0	2.4%	
「ゼロテック」GLU-HL	29	88.8	1.4	1.6%		29	247.5	4.4	1.8%	
ビトロスライド GLU II	16	93.9	1.1	1.1%		16	240.9	3.2	1.3%	
富士ドライケムスライド GLU-P III	13	94.6	2.4	2.5%		13	252.4	6.7	2.7%	
Lタイプワゴー Glu2	6	89.0	1.3	1.4%		6	247.4	2.3	0.9%	
クイックオートネオ GLU-HK	6	89.2	0.9	1.1%		6	247.3	2.3	0.9%	
「ゼロテック」GLU-HL TypeH	3	88.0	3.5	3.9%		3	246.0	8.2	3.3%	
エイアンドティー GAシリーズ専用試薬	3	87.3	0.6	0.7%		3	245.7	2.1	0.8%	
シカリキッド GLU J	3	89.1	0.9	1.0%		3	249.2	2.4	1.0%	
<目標値>		89.8					249.8			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差 ^{*4}	許容範囲 ^{*4}		評価施設数 ^{*5}					
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D		
		評価には網掛を採用 ^{*6}	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用						個 別	-	計			
グルコース (mg/dL)	1	89.8	90.7	2.0	3.4	3.1	1	84.5	97.0	57	29	2	3	1	92
「ゼロテック」TypeH	1		88.8	2.0	3.9	3.5	1	81.5	96.0	2	1				3
グルコース (mg/dL)	2	249.8	247.1	2.0	2.4	5.9	1	235.0	259.0	66	21	2		3	92

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告値に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

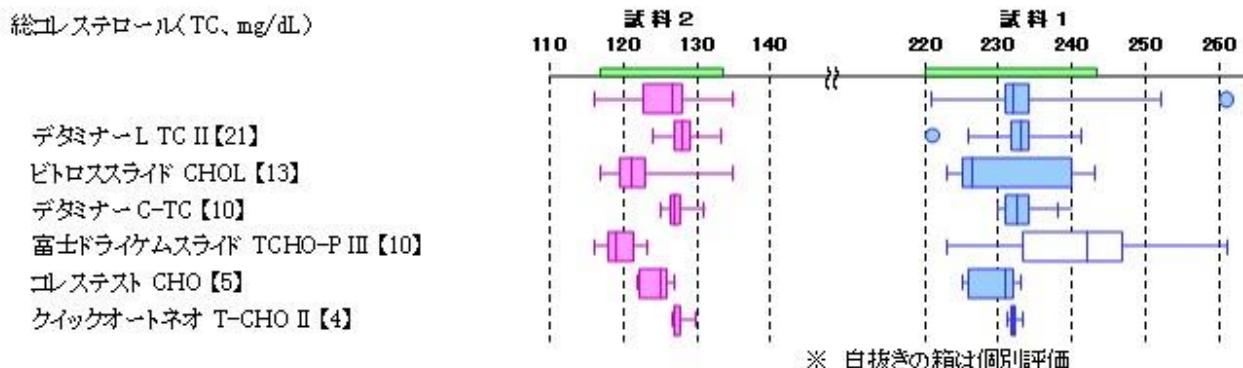
8. 総コレステロール(TC)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
総コレステロール(TC, mg/dL)	83	125.4	4.0	3.2%		82	232.9	5.8	2.5%	1
デタミナー L TC II	31	127.9	2.0	1.6%		31	232.7	2.8	1.2%	1
ピトロスライド CHOL	13	122.6	4.7	3.8%		13	231.7	8.0	3.4%	
デタミナー C-TC	10	127.4	1.8	1.4%		10	233.2	2.8	1.2%	
富士ドライケムスライド TCHO-P III	10	119.5	2.5	2.1%		10	240.6	11.0	4.6%	
コレステスト CHO	5	124.5	2.2	1.8%		5	229.2	3.5	1.5%	
クイックオートネオ T-CHO II	4	127.6	1.5	1.1%		4	232.2	0.9	0.4%	
<目標値>		127.1					231.7			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	
		評価には網掛を採用*	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用					個 別	-	計		
総コレステロール (mg/dL)	1	231.7	232.9	2.5	2.5	5.8	1	220.0	243.5	58	13	10	2	83
富士ドライケム	1		240.6	2.5	4.6	11.1	1	218.0	263.0	7	3			10
総コレステロール (mg/dL)	2	127.1	125.4	2.5	3.2	4.0	1	117.0	133.5	56	25	2		83

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

9. 中性脂肪(TG)

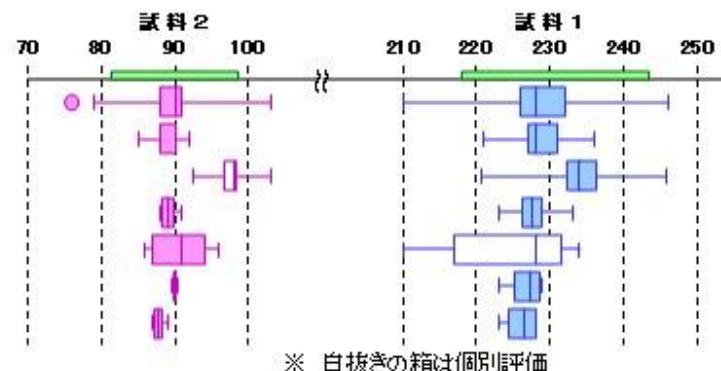
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	Mean	SD	CV	除外
中性脂肪(TG, mg/dL)	77	90.3	4.3	4.7%	1	78	228.4	6.2	2.7%	
デタミナーL TG II	31	89.5	1.5	1.7%		31	228.6	3.5	1.5%	
ビトロスライド TRIG	12	98.0	2.9	2.9%		12	234.2	6.3	2.7%	
デタミナーC-TG	10	89.2	1.0	1.1%		10	227.9	2.9	1.3%	
富士ドライケムスライド TG-P III	7	90.7	4.1	4.5%		7	224.1	10.0	4.5%	
クイックオートネオ TG II(A)	4	89.9	0.3	0.4%		4	226.6	2.7	1.2%	
コレステスト TG	4	87.9	0.9	1.0%		4	226.0	2.4	1.1%	
<目標値>		90.0					230.7			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

中性脂肪(TG, mg/dL)



3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳 試料	目標値 評価には網掛を採用	平均値 評価には網掛を採用	CV (%)		換算 SD 最小誤差	許容範囲	評価施設数								
			日医	集計			A	B	C	D	個別	-			
							下限	上限				計			
中性脂肪 (mg/dL)	1	230.7	228.4	2.5	2.7	6.2	1	218.0	243.5	57	10	1	7	3	78
富士ドライケム	1		224.1	2.5	4.5	10.1	1	203.5	244.5	3	4				7
中性脂肪 (mg/dL)	2	90.0	90.3	2.5	4.7	4.2	1	81.5	98.5	59	4		12	3	78
ビトロス	2		98.0	2.5	2.9	2.8	1	92.0	104.0	9	3				12

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告桁に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

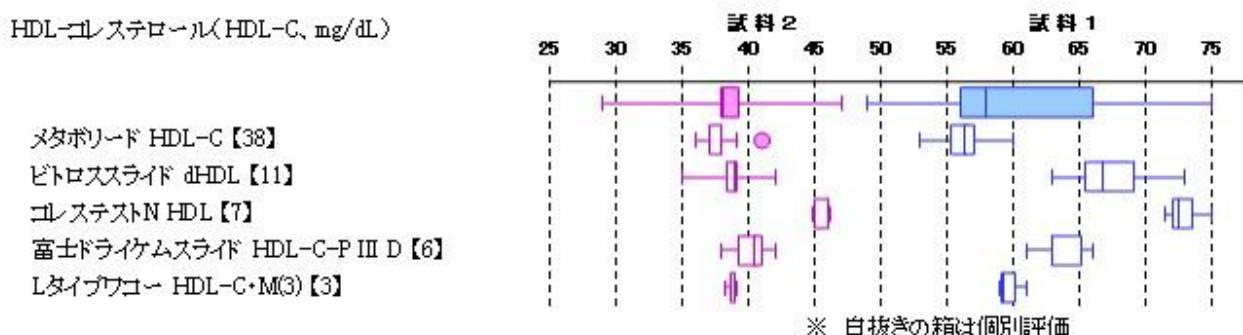
10. HDL-コレステロール (HDL-C)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	Mean	SD	CV	除外
HDL-コレステロール(HDL-C, mg/dL)	74	39.2	3.5	8.8%		74	61.1	7.0	11.4%	
メタボリード HDL-C	37	37.8	0.7	1.8%	1	38	56.3	1.4	2.4%	
ビトロスライド dHDL	11	38.9	1.8	4.5%		11	67.4	2.9	4.3%	
コレステストN HDL	7	45.6	0.6	1.3%		7	72.9	1.3	1.7%	
富士ドライケムスライド HDL-C-P III D	6	40.2	1.5	3.7%		6	63.7	2.0	3.1%	
Lタイプワゴー HDL-C・M(3)	3	38.7	0.5	1.3%		3	59.8	1.1	1.8%	
<目標値>		40.6					62.7			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**	評価施設数***						
				日医*	集計**				評価施設数***						
		個別評価の内訳	評価には網掛を採用***	評価には網掛を採用***	評価には網掛を採用***	下限	上限	A	B	C	D	個 別	-	計	
HDL-C (mg/dL)	1		61.1	3.0	(11.4) 6.0	3.7	1	53.5	68.5			65	9	74	
メタボリード	1	55.8	56.3	3.0	2.4	1.7	1	52.0	59.5	32	5	1		38	
ビトロス	1		67.4	3.0	4.3	2.9	1	61.5	73.5	8	3			11	
コレステストN	1	72.1	72.9	3.0	1.7	2.2	1	67.5	76.5	6	1			7	
富士ドライケム	1		63.7	3.0	3.1	2.0	1	59.5	68.0	3	3			6	
Lタイプワゴー	1	60.3	59.8	3.0	1.8	1.8	1	56.5	64.0	3				3	
HDL-C (mg/dL)	2		39.2	3.0	(8.8) 6.0	2.4	1	34.0	44.0				65	9	74
メタボリード	2	37.7	37.8	3.0	1.8	1.1	1	35.5	40.0	33	4	1		38	
ビトロス	2		67.4	3.0	4.3	2.9	1	61.5	73.5	8	3			11	
コレステストN	2	45.0	45.6	3.0	1.3	1.4	1	42.0	48.0	7				7	
富士ドライケム	2		39.0	3.0	1.2	1.2	1	37.0	43.5	4	2			6	
Lタイプワゴー	2	39.0	387	3.0	1.2	1.2	1	36.5	41.5	3				3	

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

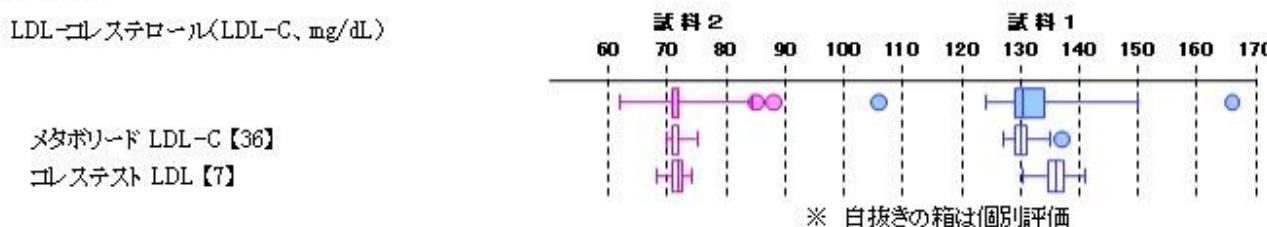
11. LDL-コレステロール (LDL-C)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
LDL-コレステロール(LDL-C, mg/dL)	52	71.5	3.1	4.3%	2	52	131.8	4.6	3.5%	2
メタボリード LDL-C	36	71.9	1.2	1.7%		36	130.1	1.7	1.3%	1
コレステスト LDL	7	71.5	1.9	2.7%		7	135.9	3.3	2.4%	
<目標値>		75.5					137.3			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	
		評価には網掛を採用*	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用						個 別	-	計		
LDL-C (mg/dL)	1		131.8	3.0	3.5	4.6	1	122.5	141.0			43	11	54
メタボリード	1	128.5	130.1	3.0	1.3	3.9	1	120.5	136.5	33	2	1		36
コレステスト	1	137.5	135.9	3.0	2.4	4.1	1	129.0	146.0	6	1			7
LDL-C (mg/dL)	2		71.5	3.0	4.3	3.1	1	65.0	78.0			43	11	54
メタボリード	2	70.6	71.9	3.0	1.7	2.2	1	67.5	76.5	33	3			36
コレステスト	2	72.1	71.5	3.0	2.7	2.2	1	67.5	76.5	6	1			7

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告行に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

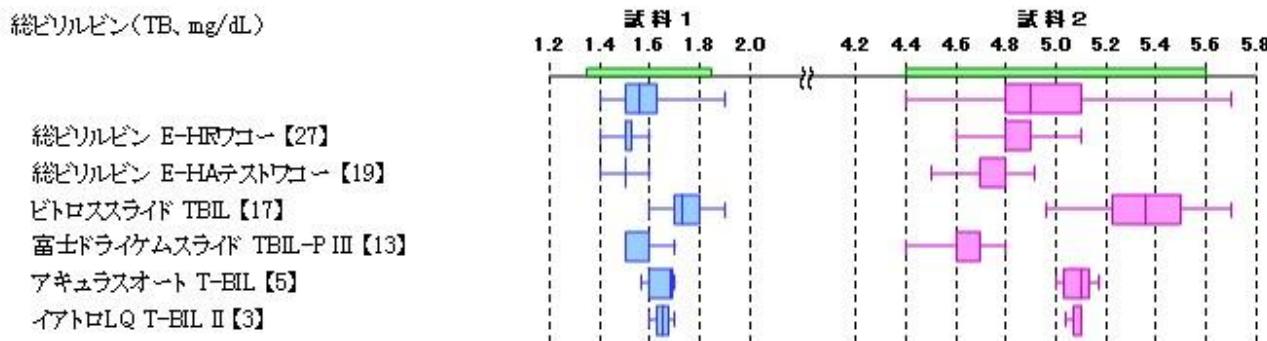
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

12. 総ビリルビン(TB)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
総ビリルビン(TB, mg/dL)	93	1.58	0.11	7.1%		93	4.93	0.28	5.7%	
総ビリルビン E-HRワゴー	27	1.51	0.05	3.6%		27	4.83	0.10	2.0%	
総ビリルビン E-HAテストワゴー	19	1.51	0.05	3.5%		19	4.77	0.11	2.3%	
ビトロスライド TBIL	17	1.74	0.10	5.7%		17	5.37	0.18	3.4%	
富士ドライケムスライド TBIL-P III	13	1.57	0.08	4.8%		13	4.63	0.12	2.7%	
アキュラスオート T-BIL	5	1.65	0.06	3.7%		5	5.09	0.07	1.4%	
イアトロLQ T-BIL II	3	1.65	0.05	3.0%		3	5.08	0.03	0.7%	
<目標値>		1.60					5.00			

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	(単位) 試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***							
				日医*	集計**			評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	下限	上限	A	B	C	D	個 別
総ビリルビン (mg/dL)	1	1.60	1.58	7.0	7.1	0.11	0.1	1.35	1.86	78	12	3					93
総ビリルビン (mg/dL)	2	5.00	4.93	3.0	5.7	0.29	0.1	4.40	5.60	69	23	1					93

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告行に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

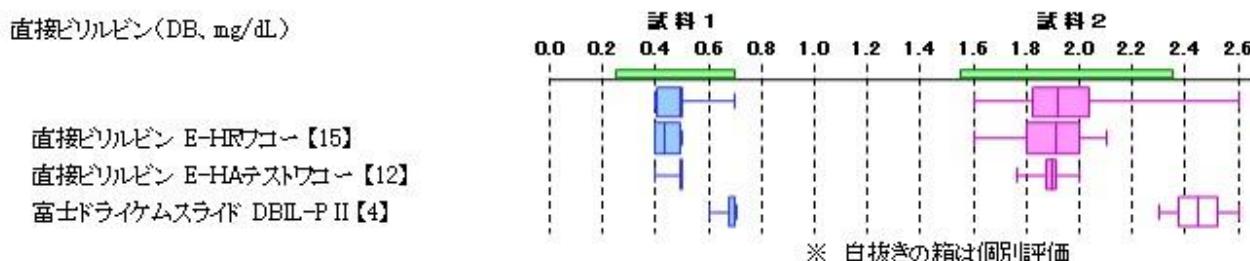
13-1. 直接ビリルビン(DB)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
直接ビリルビン(DB, mg/dL)	34	0.49	0.08	17.2%		34	1.98	0.22	11.1%	
直接ビリルビン E-HRフロー	15	0.44	0.05	10.3%		15	1.89	0.14	7.3%	
直接ビリルビン E-HAテストフロー	12	0.49	0.03	6.4%		12	1.89	0.07	3.9%	
富士ドライケムスライド DBIL-P II	4	0.68	0.05	7.4%		4	2.45	0.13	5.3%	
<目標値>		0.42					1.95			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						個 別	-	計		
直接ビリルビン (mg/dL)	1	0.42	0.49	7.0	(17.2)14.0	0.07	0.1	0.25	0.70	30	4			34
直接ビリルビン (mg/dL)	2	1.95	1.98	5.0	(11.1)10.0	0.20	0.1	1.55	2.35	26	4		4	34
富士ドライケム	2		2.45	5.0		0.13	0.1	2.15	2.75	4				4

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

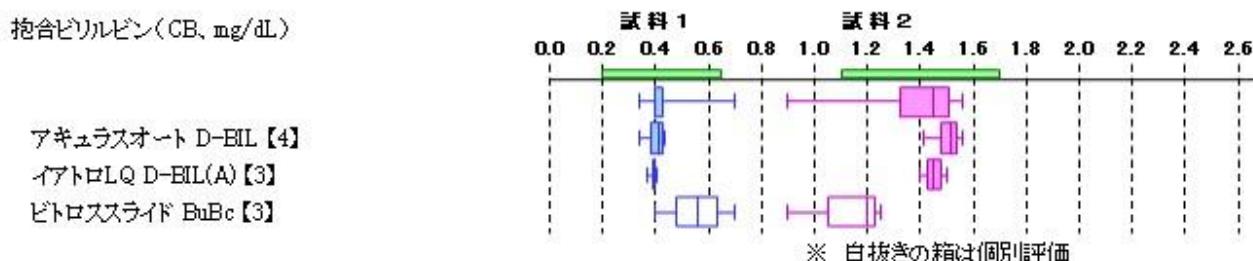
13-2. 抱合ビリルビン(CB)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
抱合ビリルビン(CB, mg/dL)	11	0.44	0.10	23.2%		11	1.38	0.20	14.3%	
アキュラスオート D-BIL	4	0.40	0.04	11.1%		4	1.50	0.06	4.3%	
イアトロLQ D-BIL(A)	3	0.39	0.02	4.4%		3	1.45	0.05	3.4%	
ピトロススライド BuBc	3	0.55	0.15	27.0%		3	1.12	0.19	16.9%	
<目標値>		0.40					1.44			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***			
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						個 別	-	計	
抱合ビリルビン (mg/dL)	1	0.40	0.44	7.0	(23.2)14.0	0.06	0.1	0.20	0.65	8		3	11
ピトロス	1		0.55	7.0	(27.0)14.0	0.08	0.1	0.35	0.75	1	2		3
抱合ビリルビン (mg/dL)	2	1.44	1.38	5.0	(14.3)10.0	0.14	0.1	1.10	1.70	7	1	3	11
ピトロス	2		1.12	5.0	(16.9)10.0	0.11	0.1	0.90	1.35	1	2		3

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

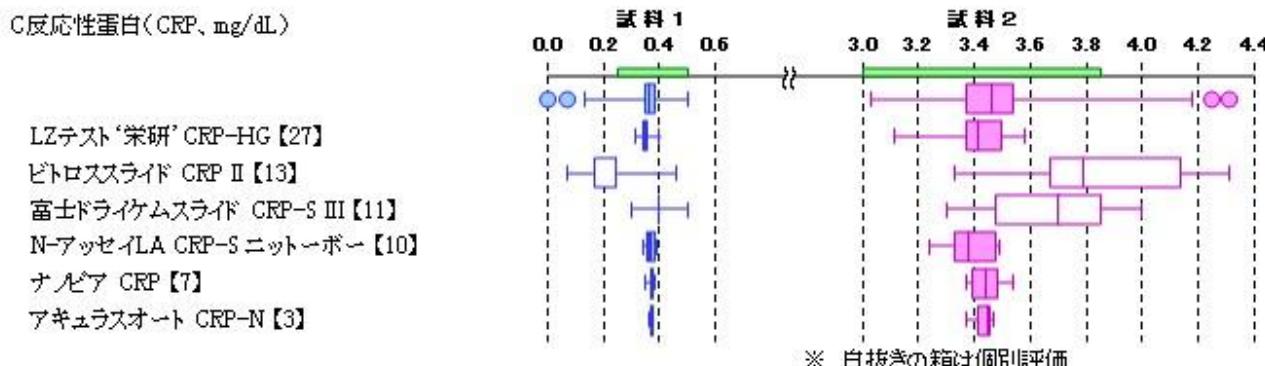
14. C反応性蛋白(CRP)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
CRP(mg/dL)	84	0.36	0.05	15.3%	6	88	3.49	0.21	5.9%	2
LZテスト‘栄研’CRP-HG	27	0.35	0.02	5.2%		27	3.41	0.11	3.2%	
ピトロススライド CRP II	10	0.27	0.13	49.8%	3	13	3.85	0.32	8.3%	
富士ドライケムスライド CRP-S III	11	0.40	0.06	14.0%		11	3.66	0.23	6.3%	
N-アッセイ-LA CRP-S ニットーポー	10	0.37	0.02	4.7%		10	3.39	0.09	2.6%	
ナノピア CRP	7	0.37	0.01	3.1%		7	3.44	0.06	1.9%	
アキュラスオート CRP-N	3	0.37	0.01	2.2%		3	3.43	0.05	1.5%	
<目標値>		0.36					3.41			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳 試料	(単位)	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***			
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D
				評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用			個別	-	計			
CRP (mg/dL)	CRP	1	0.36	0.36	15.0	5.3	0.05	0.05	0.25 0.50	71	4	13	2 90
	ピトロス	1		0.27	15.0	(49.8)30.0	0.08	0.05	0.10 0.45	5	3 2	3	13
CRP (mg/dL)	CRP	2	3.41	3.49	6.0	5.7	0.20	0.05	3.00 3.85	61	5	24	90
	ピトロス	2		3.91	6.0	7.9	0.31	0.05	3.25 4.55	8	5		13
	富士ドライケム	2		3.66	6.0	6.3	0.23	0.05	3.20 4.15	8	3		11

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

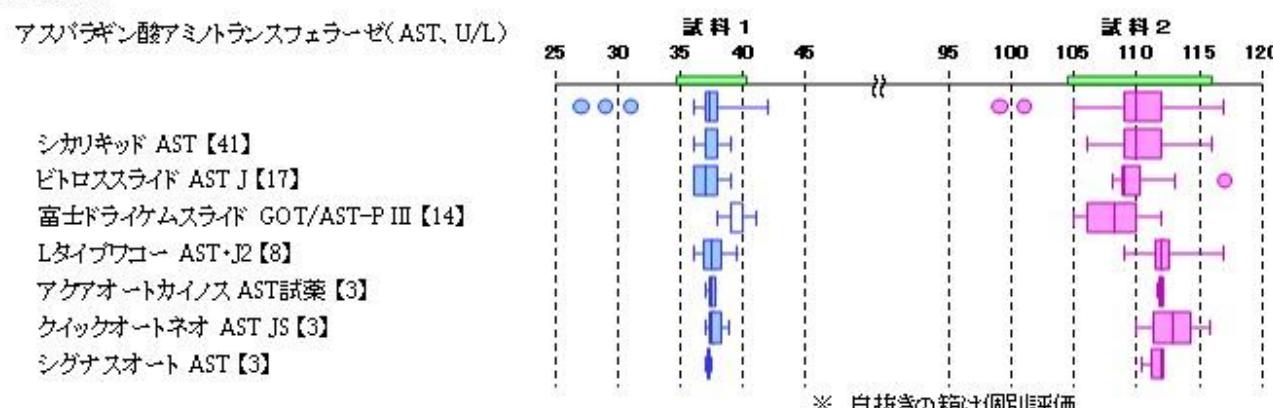
15. アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ(AST)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アスパラギン酸アミトランスフェラーゼ(AST、U/L)	94	37.7	1.2	3.2%	3	95	110.5	2.3	2.1%	2
シカリキッド AST	41	37.4	0.7	1.9%		41	110.6	1.9	1.7%	
ビトロスライド AST J	17	37.1	0.9	2.4%		16	109.6	1.5	1.3%	1
富士ドライケムスライド GOT/AST-P III	14	39.5	1.0	2.7%		14	108.3	2.5	2.4%	
Lダイブワゴー AST-J2	8	37.6	1.3	3.4%		8	112.3	2.4	2.2%	
アケアオートカイノス AST試薬	3	37.4	0.4	1.1%		3	111.9	0.2	0.2%	
クイックオートネオ AST JS	3	37.8	0.9	2.4%		3	112.9	3.0	2.6%	
シグナスオート AST	3	37.2	0.3	0.7%		3	111.5	1.0	0.9%	
<目標値>		37.2					110.1			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 試料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別
			評価には 網掛を採用*		評価には 網掛を採用		評価には 網掛を採用						
AST (U/L)	1	37.2	37.7	3.0	3.2	1.2	1	34.5	40.0	72	7		14
富士ドライケム	1		39.5	3.0	2.7	1.2	1	37.0	42.0	9	5		14
AST (U/L)	2	110.1	110.5	2.5	2.1	2.8	1	104.5	116.0	82	11	2	2
													97

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

16. アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT)

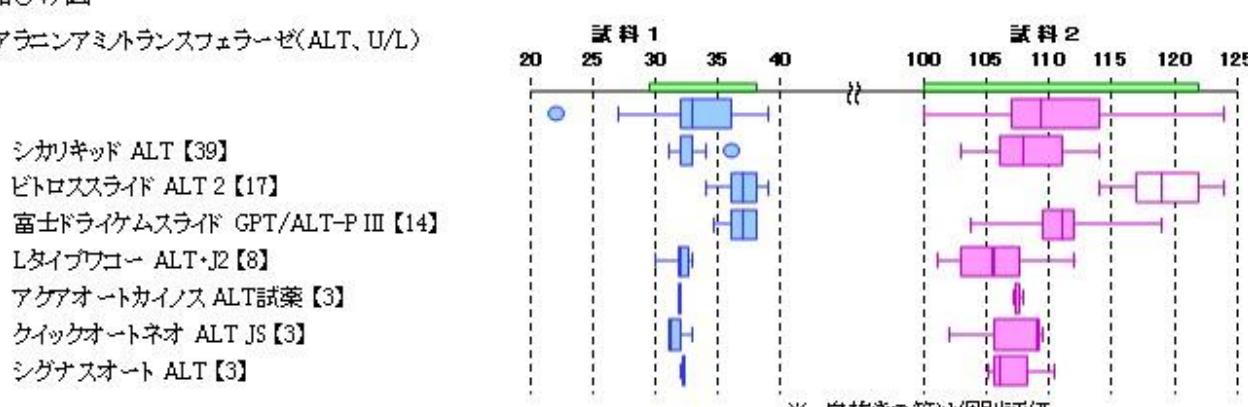
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT、U/L)	96	33.8	2.5	7.3%	1	97	110.6	5.4	4.9%	
シカリキッド ALT	39	32.7	0.6	1.9%	1	39	108.5	3.1	2.8%	
ビトロスライド ALT 2	17	36.8	1.4	3.9%		17	119.5	3.2	2.7%	
富士ドライケムスライド GPT/ALT-P III	14	36.8	1.1	3.1%		14	111.4	3.6	3.2%	
Lダイブワゴー ALT・J2	8	31.9	1.0	3.2%		8	105.8	3.7	3.5%	
アケアオートカイノス ALT試薬	3	31.9	0.1	0.3%		3	107.5	0.4	0.4%	
クイックオートネオ ALT JS	3	31.7	1.0	3.3%		3	106.8	4.2	3.9%	
シグナスオート ALT	3	32.2	0.2	0.5%		3	107.2	2.8	2.6%	
<目標値>		32.0					111.1			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

アラニンアミノトランスフェラーゼ(ALT、U/L)



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 試 料 個別評価の内訳	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別
			評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用								-
ALT (U/L)	1	32.0	33.8	3.0 (7.3) 6.0	2.0	1	29.5	38.0	62	31	1		3 97
ALT (U/L)	2	111.1	110.6	2.5	4.9	5.4	1	100.0	122.0	65	15	17	97
ビトロス	2		119.5	2.5	2.7	3.2	1	113.0	126.0	11	6		17

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

17. 乳酸デヒドロゲナーゼ(LD)

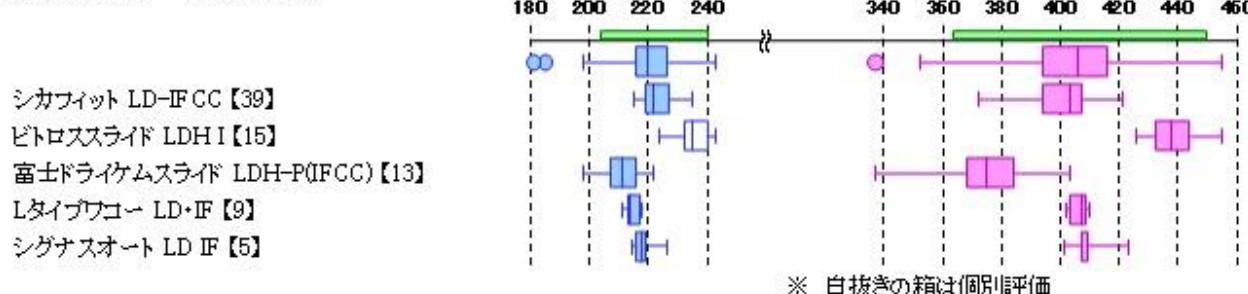
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
乳酸デヒドロゲナーゼ(LD、U/L)	89	221.8	9.0	4.0%	2	90	406.1	21.6	5.3%	1
シカフィット LD-IFCC	39	222.3	4.7	2.1%		39	401.9	10.1	2.5%	
ビトロスライド LDH I	15	235.9	5.0	2.1%		15	439.2	8.7	2.0%	
富士ドライケムスライド LDH-P(IFCC)	13	211.1	6.3	3.0%		13	374.3	17.3	4.6%	
Lタイプワコー LD・IF	9	214.7	2.5	1.2%		9	406.4	3.3	0.8%	
シグナスオート LD IF	5	218.8	4.4	2.0%		5	409.6	8.0	1.9%	
<目標値>		217.5					406.5			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

乳酸デヒドロゲナーゼ(LD、U/L)



3) 評価状況

項目名 試料 個別評価の内訳	(単位)	評価には網掛を採用*	CV (%)		換算SD	最小誤差**	許容範囲***	評価施設数**				
			日医*	集計**				A B C D				
			評価には網掛を採用					評価には網掛を採用		下限	上限	
LD (U/L)	1	217.5	221.8	3.0	4.0	8.9	1	204.0	240.0	60	13	1
ビトロス	1		235.9	3.0	2.1	7.1	1	221.5	250.5	14	1	
LD (U/L)	2	406.5	406.1	3.0	5.3	21.5	1	363.5	449.5	62	23	3
										1	2	91

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

18. アルカリホスファターゼ(ALP)

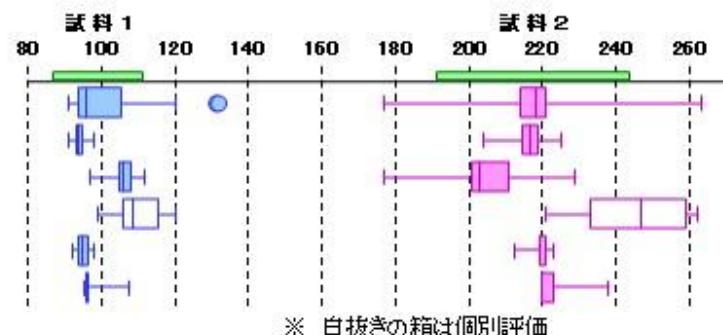
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アルカリホスファターゼ(ALP、U/L)	83	98.8	7.0	7.1%	2	85	219.7	14.7	6.7%	
シカリキッド ALP-IFCC	39	94.2	1.7	1.8%		39	216.3	4.3	2.0%	
ピトロスライド ALKP	15	106.3	3.5	3.3%		15	205.2	11.7	5.7%	
富士ドライケムスライド ALP-P(IFCC)	10	109.9	6.5	5.9%		10	244.8	15.3	6.3%	
Lタイプワゴー ALP IFCC	9	95.0	1.9	2.0%		9	219.2	3.0	1.4%	
シグナスオート ALP IF	5	98.3	5.2	5.3%		5	224.7	7.5	3.4%	
<目標値>		94.7					217.3			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

アルカリホスファターゼ(ALP、U/L)



3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個 別	
		評価には 網掛を採用***	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						個 別	-	計			
ALP (U/L)	1	94.7	98.8	3.0	(7.1) 6.0	5.9	1	87.0	111.0	52	19	1	10	3	85
富士ドライケム	1		109.9	3.0	5.9	6.5	1	96.5	123.0	7	3				10
ALP (U/L)	2	217.3	219.7	3.0	(6.7) 6.0	13.0	1	191.0	243.5	62	9	1	10	3	85
富士ドライケム	2		244.8	3.0	(6.3) 6.0	14.7	1	215.0	274.5	5	5				10

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

19. グルタミルトランスフェラーゼ(GGT)

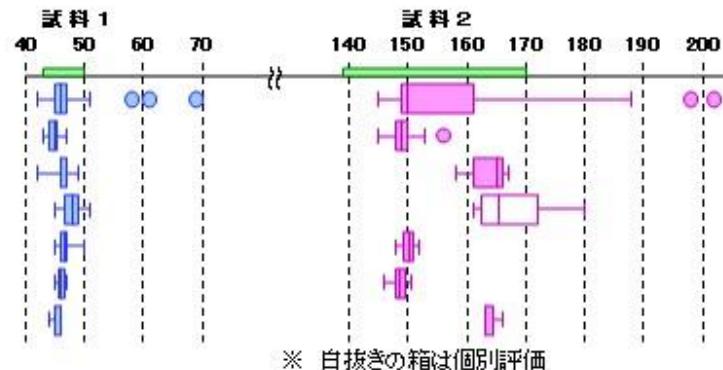
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
γ-グルタミルトランスフェラーゼ(GGT, U/L)	87	45.9	1.7	3.6%	3	88	154.4	8.8	5.7%	2
シカリキッド γ-GT J	40	45.0	0.9	2.0%		39	148.9	1.7	1.2%	1
ピトロスライド GGT J	12	46.3	1.7	3.6%		12	163.3	3.3	2.0%	
富士ドライケムスライド GGT-P III	11	48.0	2.0	4.1%		11	167.5	6.6	3.9%	
Lダイブワゴー γ-GT・J	10	46.8	1.4	2.9%		10	150.0	1.3	0.9%	
クイックオートネオ γ-GT JS	5	46.1	0.8	1.7%		5	148.5	1.7	1.2%	
ピトロスライド GGT	3	45.3	1.2	2.5%		3	164.0	1.7	1.1%	
<目標値>		46.5					149.5			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

γ-グルタミルトランスフェラーゼ(GGT, U/L)



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 試料	(単位)	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***							
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別			
				評価には網掛を採用***				評価には網掛を採用									
個別評価の内訳																	
GGT	(U/L)	1	46.5	45.9	3.0	3.6	1.7	1	43.0	50.0	64	20	3		3	90	
GGT	(U/L)	2	149.5	154.4	2.5	(5.7)	5.0	7.7	1	139.0	170.0	60	16		11	3	90
富士ドライケム		2		167.5	2.5	3.9	6.5	1	154.5	180.5	9	2				11	

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

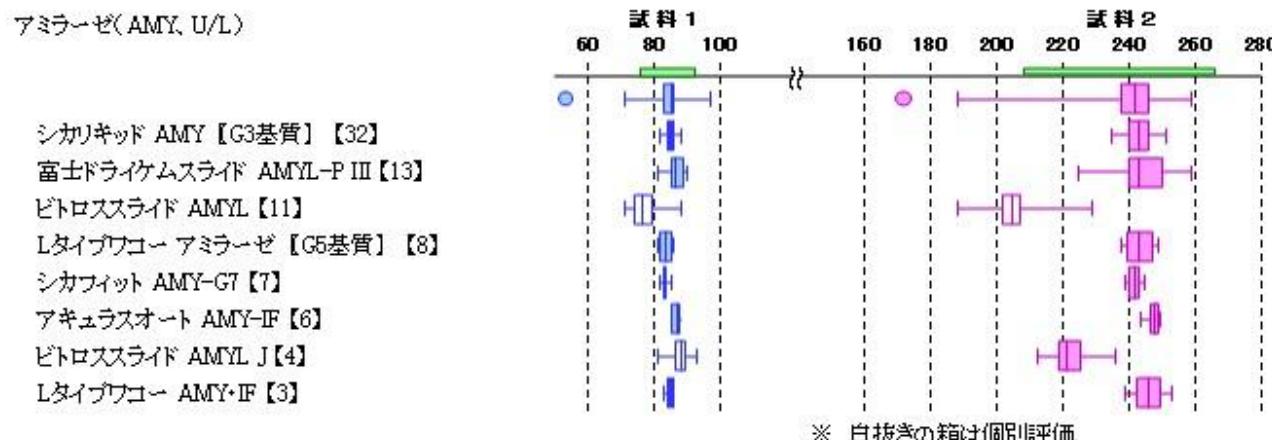
20. アミラーゼ(AMY)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
アミラーゼ(AMY, U/L)	92	84.2	4.0	4.7%	1	92	237.3	14.8	6.2%	1
シカリキッド AMY【G3基質】	32	84.8	1.4	1.6%		32	243.0	3.9	1.6%	
富士ドライケムスライド AMYL-P III	13	86.6	2.6	3.0%		13	243.2	9.8	4.0%	
ピトロススライド AMYL	II	77.2	4.6	6.0%		II	205.0	10.8	5.3%	
Lタイプワコーアミラーゼ【G5基質】	8	83.5	1.8	2.1%		8	243.4	4.2	1.7%	
シカフィット AMY-G7	7	83.4	0.9	1.1%		7	241.9	2.0	0.8%	
アキュラスオート AMY-IF	6	86.5	1.2	1.4%		6	247.5	2.2	0.9%	
ピトロススライド AMYL J	4	87.6	4.9	5.6%		4	222.9	9.8	4.4%	
Lタイプワコーアミラーゼ AMY-IF	3	84.7	1.5	1.8%		3	246.0	7.0	2.8%	
<目標値>		86.9					248.5			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位) 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差 ^{*4}	許容範囲 ^{*4}		評価施設数 ^{*5}			
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D
		評価には 網掛を採用 ^{*6}	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	下限	上限	個 別	-	計	
AMY (U/L)	1	86.9	84.2	3.5	4.7	4.0	1	76.0	92.5	70	6		15 2 93
ピトロス	1		77.2	3.5	6.0	4.6	1	68.0	86.5	9	1	1	11
ピトロスJ	1		87.6	3.5	5.6	4.9	1	77.5	97.5	2	2		4
AMY (U/L)	2	248.5	237.3	3.0	(6.2) 6.0	14.2	1	208.5	266.0	72	9		11 1 93
ピトロス	2		205.0	3.0	5.3	10.9	1	183.0	227.0	8	2	1	11

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3) または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

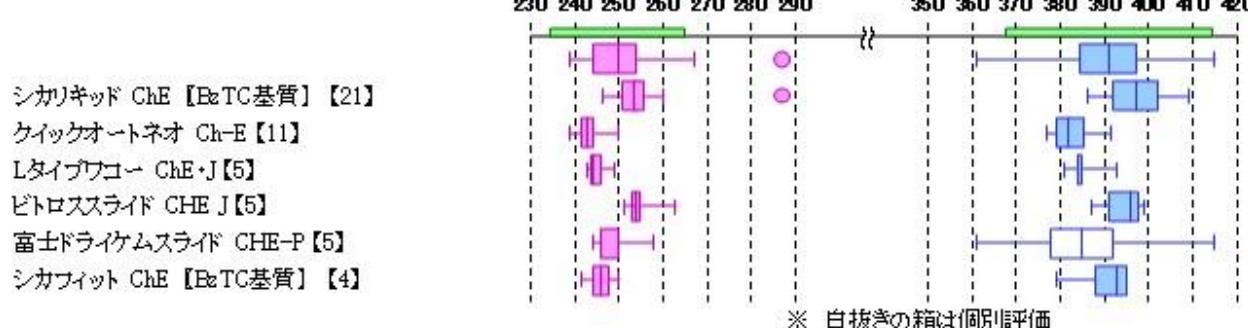
21. コリンエステラーゼ(ChE)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
コリンエステラーゼ(ChE, U/L)	54	249.6	6.3	2.5%	1	55	391.1	10.2	2.6%	
シカリキッド ChE 【BeTC基質】	20	253.4	3.6	1.4%	1	21	397.5	6.7	1.7%	
クイックオートネオ Ch-E	11	243.3	3.6	1.5%		11	382.7	5.0	1.3%	
Lタイプワゴー ChE・J	5	245.1	2.5	1.0%		5	385.4	4.5	1.2%	
ビトロスライド CHE J	5	255.1	4.4	1.7%		5	394.2	5.0	1.3%	
富士ドライケムスライド CHE-P	5	248.8	5.5	2.2%		5	386.2	19.8	5.1%	
シカフィット ChE 【BeTC基質】	4	245.9	3.6	1.5%		4	390.1	7.4	1.9%	
<目標値>		244.6					383.7			

2) 箱ひげ図

コリンエステラーゼ(ChE, U/L)



3) 評価状況

項目名 試料	(単位)	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***			
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D
				評価には 網掛を採用*				評価には 網掛を採用					
個別評価の内訳													
ChE (U/L)	1	383.7	391.1	3.0	2.6	11.7	1	367.5	414.5	39	11	5	55
富士ドライケム	1		386.2	3.0	5.1	19.7	1	346.5	426.0	3	2		5
ChE (U/L)	2	244.6	249.6	3.0	2.5	7.5	1	234.5	265.0	40	12	1	55

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

22. クレアチンキナーゼ(CK)

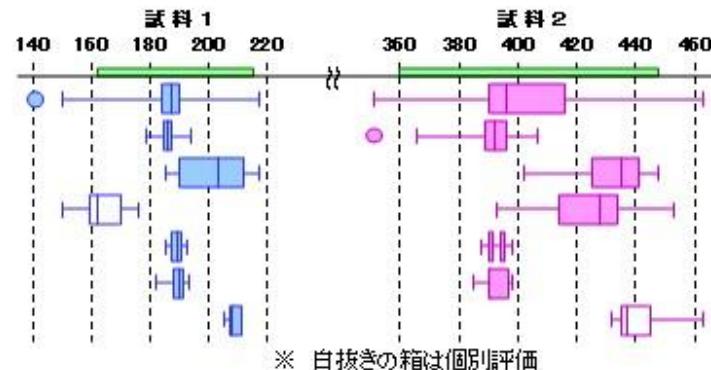
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 1					試 料 2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
クレアチンキナーゼ(CK、U/L)	92	186.2	13.0	7.0%	1	93	403.8	22.0	5.4%	
シカリキッド CK	41	186.0	2.8	1.5%		40	391.8	7.5	1.9%	1
ピトロスライド CK J	12	201.4	11.4	5.7%		12	430.3	15.5	3.6%	
富士ドライケムスライド CPK-P III	12	164.0	7.5	4.6%		12	424.4	18.6	4.4%	
シグナスオート CK	8	189.0	2.5	1.3%		8	393.3	3.8	1.0%	
Lタイプワゴー CK	7	189.1	3.7	2.0%		7	392.4	4.9	1.3%	
ピトロスライド CK	5	208.4	2.6	1.3%		5	442.4	12.5	2.8%	
<目標値>		188.6					393.5			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

クレアチンキナーゼ(CK、U/L)



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D		
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用					個 別	-	計			
CK (U/L)	1	188.6	186.2	3.5	7.0	13.2	1	162.0	215.0	67	10	1	12	3	93
富士ドライケム	1		164.0	3.5	4.6	7.5	1	149.0	179.0	9	3				12
CK (U/L)	2	393.5	403.8	3.0	5.4	21.8	1	360.0	447.5	65	20	3	5		93
ピトロス	2		442.4	3.0	2.8	13.3	1	415.5	469.0	4	1				5

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告桁に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

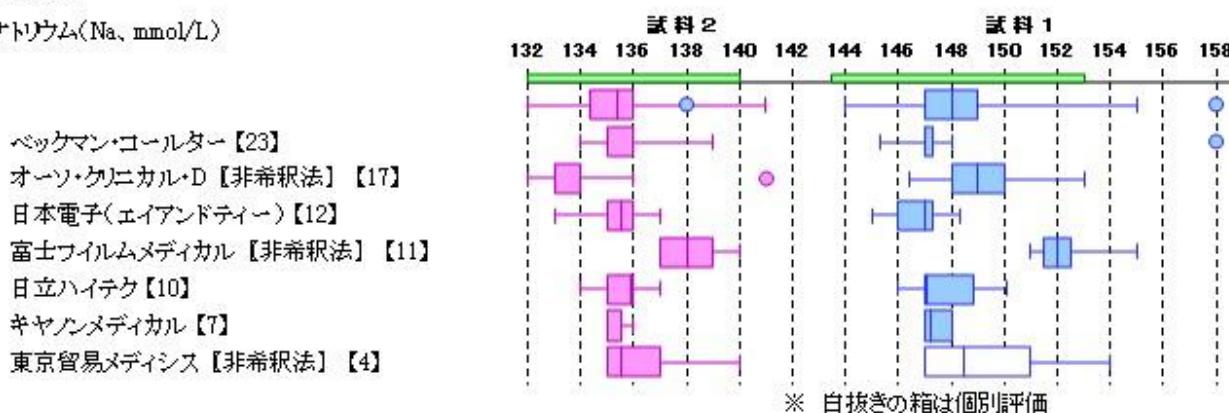
23. ナトリウム(Na)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
ナトリウム(Na, mmol/L)	91	135.5	1.8	1.4%		89	148.3	2.2	1.5%	2
ベックマン・コールター	22	135.8	1.1	0.8%	1	22	147.1	0.7	0.5%	1
オーソ・クリニカル・D【非希釈法】	17	133.5	1.1	0.8%		17	149.1	1.7	1.1%	
日本電子(エイアンドティー)	12	135.4	1.0	0.7%		12	146.8	0.9	0.6%	
富士フィルムメディカル【非希釈法】	11	138.2	1.2	0.8%		11	152.3	1.3	0.8%	
日立ハイテク	10	135.7	0.9	0.7%		10	147.8	1.3	0.9%	
キヤノンメディカル	7	135.3	0.4	0.3%		7	147.5	0.5	0.3%	
東京貿易メディシス【非希釈法】	4	136.5	2.4	1.7%		4	149.5	3.3	2.2%	
<目標値>		135.8					147.4			

2) 箱ひげ図

ナトリウム(Na, mmol/L)



3) 評価状況

項目名 試料 個別評価の内訳	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***								
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別	-	計		
			評価には 網掛を採用*		評価には 網掛を採用		評価には 網掛を採用										
ナトリウム (mmol/L)	1	147.4	148.3	1.0	1.5	2.2	1	143.5	153.0	68	15	2	1	4	1	91	
東京貿易メディシス	1		149.5	1.0	(2.2)	2.0	3.0	1	143.5	155.5	3	1					4
ナトリウム (mmol/L)	2	135.8	135.5	1.0	1.4	1.9	1	132.0	140.0	66	24	1					91

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

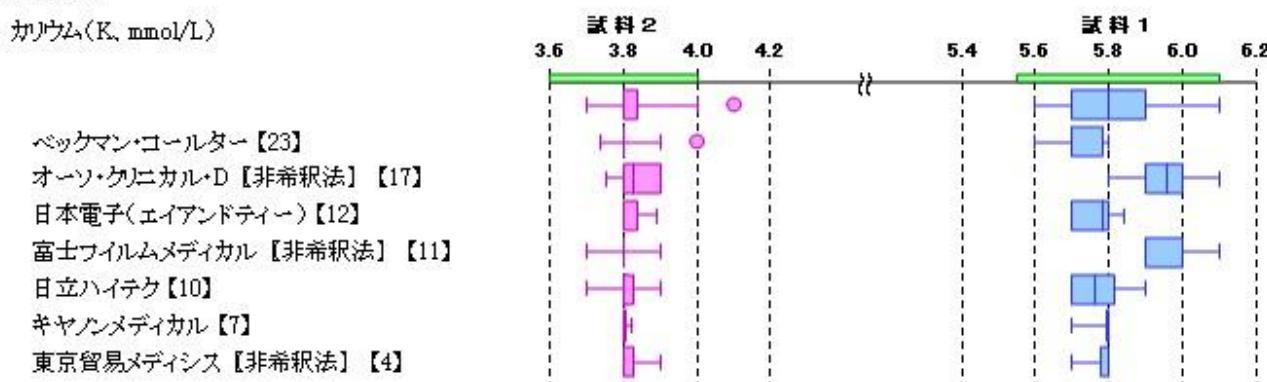
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

24. カリウム(K)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
カリウム(K, mmol/L)	89	3.82	0.06	1.5%	2	91	5.83	0.12	2.1%	
ベックマン・コールター	22	3.81	0.04	0.9%	1	23	5.72	0.06	1.0%	
オーソ・クリニカル・D【非希釈法】	17	3.84	0.05	1.3%		17	5.96	0.09	1.4%	
日本電子(エイアンドティー)	12	3.82	0.03	0.8%		12	5.76	0.05	0.9%	
富士フィルムメディカル【非希釈法】	11	3.81	0.05	1.4%		11	5.97	0.06	1.1%	
日立ハイテク	10	3.82	0.06	1.5%		10	5.78	0.08	1.4%	
キヤノンメディカル	7	3.80	0.01	0.2%		7	5.78	0.04	0.6%	
東京貿易メディシス【非希釈法】	4	3.83	0.05	1.3%		4	5.78	0.05	0.9%	
<目標値>		3.80					5.75			

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	(単位) 試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個 別
		カリウム (mmol/L)	1	5.75	5.83	2.0	2.1	0.12	0.1	5.55	6.10	72	19	
カリウム (mmol/L)	2	3.80	3.82	2.0	1.5	0.08	0.1	3.60	4.00	86	3			2
														91

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告桁に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

25. クロール (Cl)

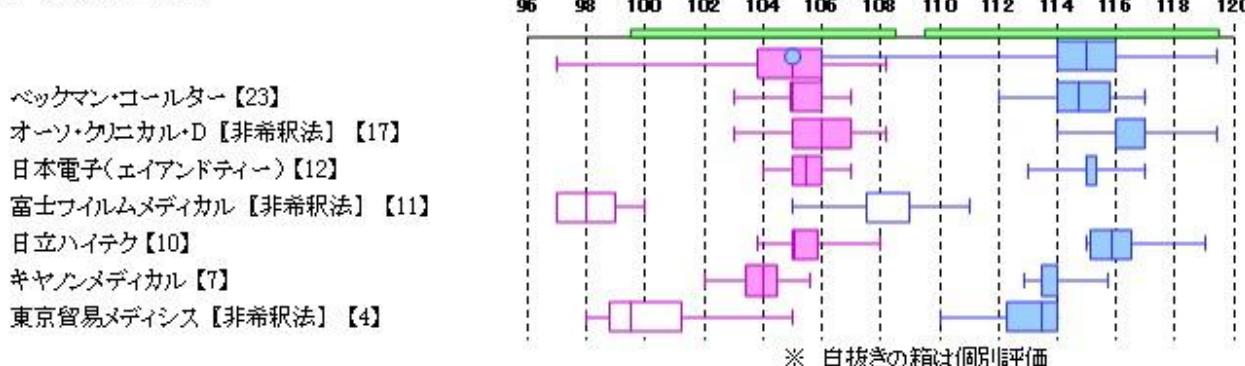
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
クロール(Cl, mmol/L)	90	104.1	2.9	2.8%		89	114.5	2.7	2.3%	1
ベックマン・コールター	23	105.4	1.1	1.0%		23	114.8	1.2	1.0%	
オーソ・クリニカル・D【非希釈法】	17	105.9	1.3	1.3%		17	116.6	1.4	1.2%	
日本電子(エイアンドティー)	12	105.5	0.8	0.7%		12	115.1	0.9	0.8%	
富士フィルムメディカル【非希釈法】	II 98.0	1.1	1.1%			II 108.4	1.9	1.7%		
日立ハイテク	10	105.4	1.1	1.0%		10	116.1	1.2	1.1%	
キヤノンメディカル	7	103.9	1.2	1.1%		7	113.9	0.9	0.8%	
東京貿易メディシス【非希釈法】	4 100.5	3.1	3.1%			4	112.8	1.9	1.7%	
<目標値>		105.5					115.2			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

クロール(Cl, mmol/L)



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳 試料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***					
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別	
			評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用								-	
クロール (mmol/L)	1	115.2	114.5	1.0	(2.3) 2.0	2.3	1	109.5	119.5	72	7	11	90	
富士ドライケム	1		108.4	1.0		1.7	1.8	1	104.5	112.0	7	4		11
クロール (mmol/L)	2	106.5	104.1	1.0	(2.8) 2.0	2.1	1	99.5	108.5	63	12	15		90
富士ドライケム	2		98.0	1.0		1.1	1.1	1	95.5	100.5	10	1		11
東京貿易メディシス	2		100.5	1.0	(3.1) 2.0	2.0	1	96.5	104.5	2	1	1		4

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告値に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上による試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価値に採用する。

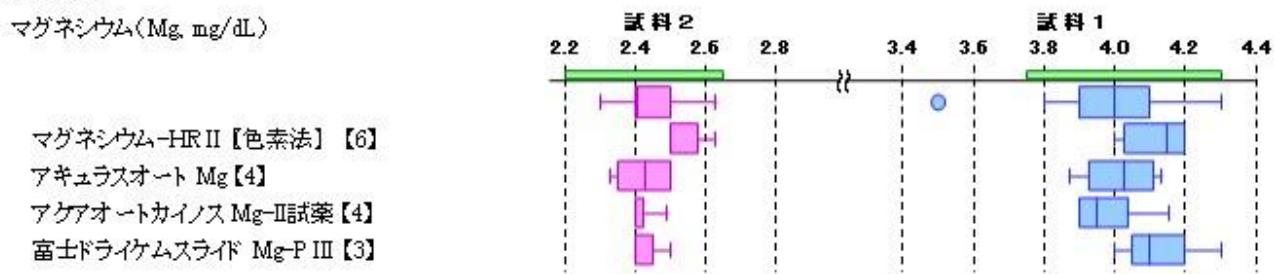
26. マグネシウム(Mg)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
マグネシウム(Mg, mg/dL)	26	2.44	0.08	3.2%		25	4.03	0.13	3.1%	1
マグネシウム-HR II【色素法】	6	2.54	0.06	2.4%		6	4.12	0.10	2.4%	
アキュラスオートMg	4	2.42	0.09	3.7%		4	4.01	0.12	3.1%	
アケアオートカイノス Mg-II試薬	4	2.42	0.05	1.9%		4	3.99	0.12	3.0%	
富士ドライケムスライド Mg-P III	3	2.43	0.06	2.4%		3	4.13	0.15	3.7%	
<目標値>		2.39					3.95			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 試料	(単位)	目標値	平均値	CV (%)		換算SD	最小誤差	許容範囲	評価施設数					
				日医*	集計**				評価施設数					
				評価には網掛を採用	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用	下限	上限	A	B	C	D	個別	
マグネシウム (mg/dL)	1	3.95	4.03	3.0	3.1	0.12	0.1	3.75	4.30	19	6		1	26
マグネシウム (mg/dL)	2	2.39	2.44	3.0	3.2	0.08	0.1	2.20	2.65	23	3			26

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 C または D 評価が 20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

27. カルシウム(Ca)

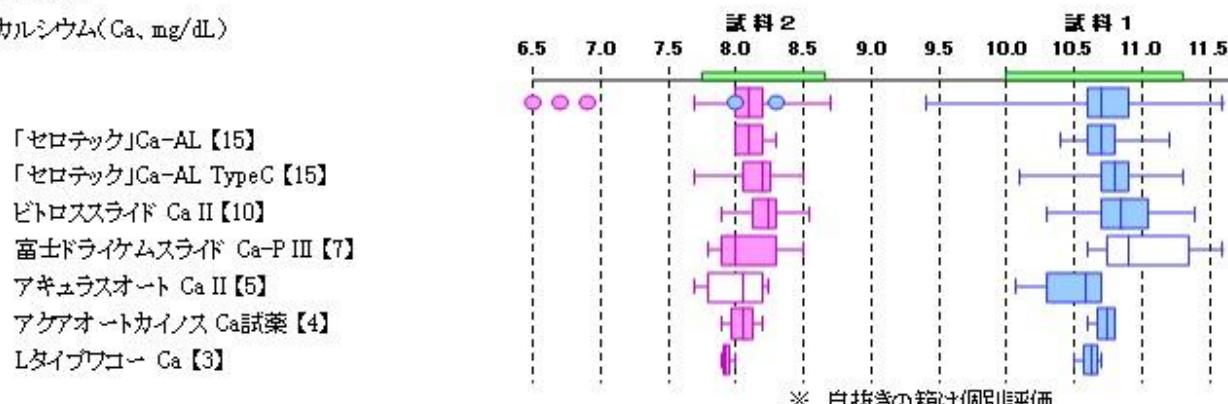
1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
カルシウム(Ca, mg/dL)	65	8.12	0.19	2.4%	3	66	10.75	0.32	3.0%	2
「ゼロテック」Ca-AL	15	8.11	0.10	1.3%		15	10.73	0.18	1.7%	
「ゼロテック」Ca-AL TypeC	15	8.15	0.18	2.3%		15	10.79	0.26	2.4%	
ビトロスライド Ca II	10	8.21	0.20	2.4%		10	10.83	0.35	3.2%	
富士ドライケムスライド Ca-P III	7	8.10	0.27	3.3%		7	11.04	0.39	3.5%	
アキュラスオート Ca II	5	8.00	0.24	3.0%		5	10.47	0.28	2.7%	
アクアオートカイノス Ca試薬	4	8.05	0.13	1.6%		4	10.73	0.10	0.9%	
Lダイブロゴー Ca	3	7.94	0.05	0.7%		3	10.61	0.10	1.0%	
<目標値>		8.21					10.65			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

カルシウム(Ca, mg/dL)



※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 試料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***						
			日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個別		
			評価には 網掛を採用*		評価には 網掛を採用		評価には 網掛を採用								
カルシウム (mg/dL)	1	10.65	10.75	2.5	3.0	0.32	0.1	10.00	11.30	45	12	1	7	3	68
富士ドライケム	1		11.04	2.5	3.5	0.39	0.1	10.25	11.85	5	2				7
カルシウム (mg/dL)	2	8.21	8.12	2.5	2.4	0.21	0.1	7.75	8.65	46	12	1	5	4	68
ビトロス	2		8.00	2.5	3.0	0.24	0.1	7.50	8.50	4	1				5

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告桁に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

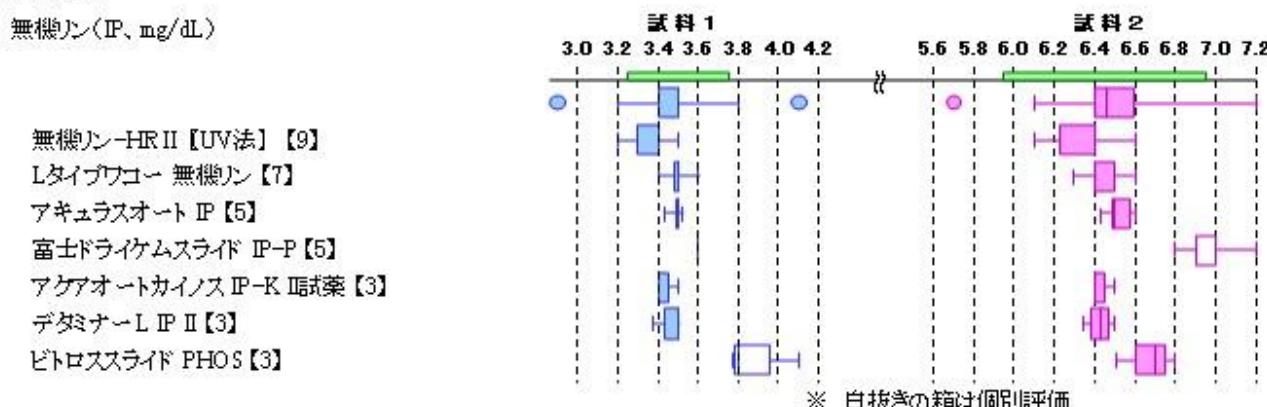
28. 無機リン(IP)

1) 統計表

項目名(略号、単位)	試料1					試料2				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
無機リン(IP, mg/dL)	41	3.48	0.12	3.4%	2	42	6.50	0.22	3.5%	1
無機リン-HR II【UV法】	9	3.35	0.09	2.7%		9	6.34	0.15	2.3%	
Lタイプワゴー 無機リン	7	3.49	0.06	1.7%		7	6.44	0.10	1.5%	
アキュラスオートIP	5	3.49	0.03	1.0%		5	6.52	0.07	1.0%	
富士ドライケムスライド IP-P	5	3.60	0.00	0.0%		5	6.96	0.15	2.2%	
アケアオートカイノス IP-K II試薬	3	3.43	0.06	1.7%		3	6.43	0.06	0.9%	
デタミナーL IP II	3	3.46	0.08	2.2%		3	6.43	0.08	1.2%	
ピトロススライド PHOS	3	3.89	0.18	4.7%		3	6.67	0.15	2.2%	
<目標値>		3.49					6.45			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***						
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個 別		
		個別評価の内訳	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用									-	計	
無機リン (mg/dL)	1	3.49	3.48	2.5	3.4	0.12	0.1	3.25	3.75	33	4	1		3	2	43
ビトロス	1		3.89	2.5	4.7	0.18	0.1	3.50	4.25	2	1					3
無機リン (mg/dL)	2	6.45	6.50	2.5	3.5	0.23	0.1	5.95	6.95	33	3			5	2	43
富士ドライケム	2		6.96	2.5	2.2	0.17	0.1	6.60	7.30	4	1					5

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

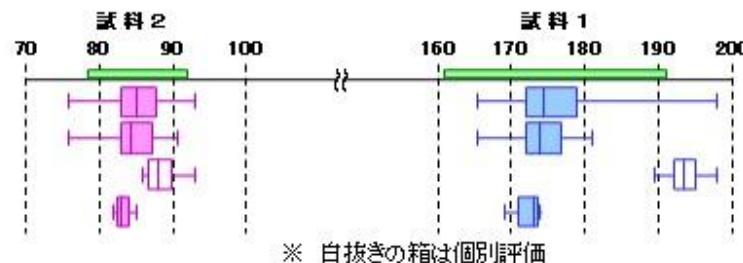
29. 鉄(Fe)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
鉄(Fe, $\mu\text{g}/\text{dL}$)	34	85.3	3.3	3.9%		34	176.5	7.4	4.2%	
クイックオートネオ Fe	22	84.6	3.3	3.9%		22	174.1	4.1	2.3%	
ピトロスライド Fe	4	88.7	3.1	3.5%		4	193.7	3.5	1.8%	
N-アッセイL Fe-Hニットーボー	3	83.3	1.5	1.8%		3	172.0	2.6	1.5%	
<目標値>		86.5					176.1			

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

鉄(Fe, $\mu\text{g}/\text{dL}$)

※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	
		評価には 網掛を採用*	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						個 別	-	計		
鉄 ($\mu\text{g}/\text{dL}$)	1	176.1	176.5	2.5	4.2	7.4	1	161.0	191.0	28	2		4	34
ピトロス	1		193.7	2.5	1.8	4.8	1	184.0	203.5		4			4
鉄 ($\mu\text{g}/\text{dL}$)	2	86.5	85.3	2.5	3.9	3.3	1	78.5	90.0	23	6	1	4	34
ピトロス	2		88.7	2.5	3.5	3.1	1	82.5	95.0	3	1			4

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

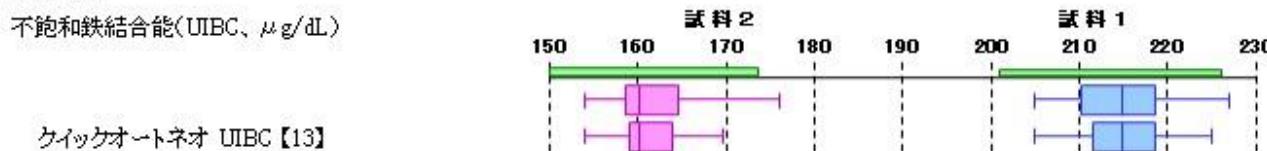
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

30. 不飽和鉄結合能(UIBC)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 2					試 料 1				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
不飽和鉄結合能(UIBC、 $\mu\text{g}/\text{dL}$)	15	161.9	5.8	3.6%		15	215.1	6.2	2.9%	
クイックオートネオ UIBC	13	161.3	4.3	2.7%		13	214.6	5.4	2.5%	
<目標値>		159.3					213.6			

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	(単位) 試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差	許容範囲		評価施設数					
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D	個 別	
										-				計	
UIBC ($\mu\text{g}/\text{dL}$)	1	213.6	215.1	2.5	2.9	6.2	1	201.0	226.0	11	3			1	15
UIBC ($\mu\text{g}/\text{dL}$)	2	159.3	161.9	2.5	3.6	5.8	1	160.0	173.5	11	3			1	15

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

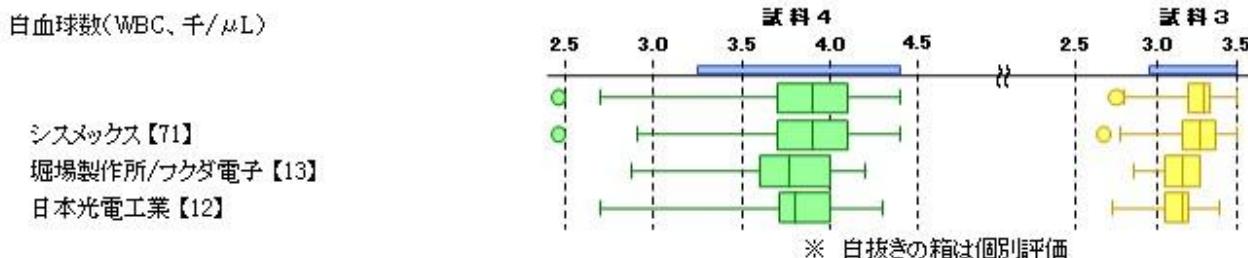
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

31. 白血球数(WBC)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 4					試 料 3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
白血球数(WBC、千/ μ L)	95	3.82	0.37	9.8%	1	94	3.24	0.13	4.0%	2
シスメックス 堀場製作所/フクダ電子 日本光電工業	70 13 12	3.85 3.70 3.79	0.36 0.41 0.39	9.5% 11.1% 10.3%	1 13 12	69 3.16 3.17	3.27 0.12 0.15	0.13 4.1% 4.7%	3.6% 4.1% 4.7%	2

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差	許容範囲		評価施設数				
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D	個 別
		評価には 網掛を採用 ^{*6}	評価には 網掛を採用	評価には 網掛を採用						- ^{*7}	計			
白血球数 (千/ μ L)	3	3.24	3.5	4.0	0.13	0.1	2.95	3.50	67 24	5	96			
白血球数 (千/ μ L)	4	3.82	3.5	(9.8) 7.0	0.27	0.1	3.25	4.40	64 21	11	96			

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05、UN:0.5、CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

*7 試料の経時的変化(低値化)の可能性があるため、評価しなかった。

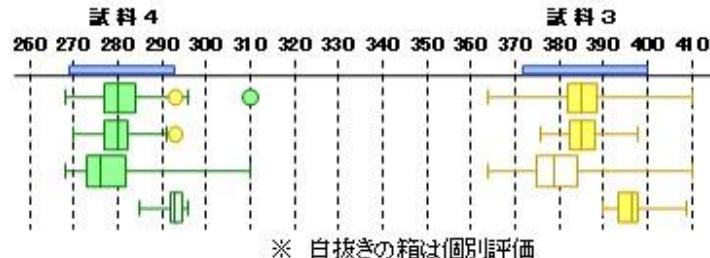
32. 赤血球数(RBC)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 4					試 料 3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
赤血球数(RBC、万/ μ L)	95	281.1	6.0	2.1%	1	95	386.1	7.1	1.8%	1
シスメックス	71	279.8	3.8	1.4%		70	385.2	4.3	1.1%	1
堀場製作所/フクダ電子	13	279.7	10.8	3.8%		13	381.0	11.3	3.0%	
日本光電工業	12	292.7	3.1	1.1%		12	396.4	5.0	1.3%	

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

赤血球数(RBC、万/ μ L)

シスメックス【71】

堀場製作所/フクダ電子【13】

日本光電工業【12】

※ 白抜きの箱は個別評価

3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳 試料	目標値 評価には網掛を採用*	平均値 評価には網掛を採用	CV (%)		換算SD 評価には網掛を採用	最小誤差**	許容範囲***		評価施設数****					
			日医	集計			下限	上限	A	B	C	D	個別	
													-	
赤血球数 (万/ μ L)	3	386.1	1.5	1.8	6.9	1	372.0	400.0	62	19	2	13	96	
堀場/フクダ電子	3	381.0	1.5	3.0	11.4	1	358.0	404.0	10	2			1	13
赤血球数 (万/ μ L)	4	281.1	1.5	2.1	5.9	1	269.0	293.0	67	15	1	12	1	96
日本光電	4	292.7	1.5	1.1	4.4	1	283.5	301.5	11	1				12

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

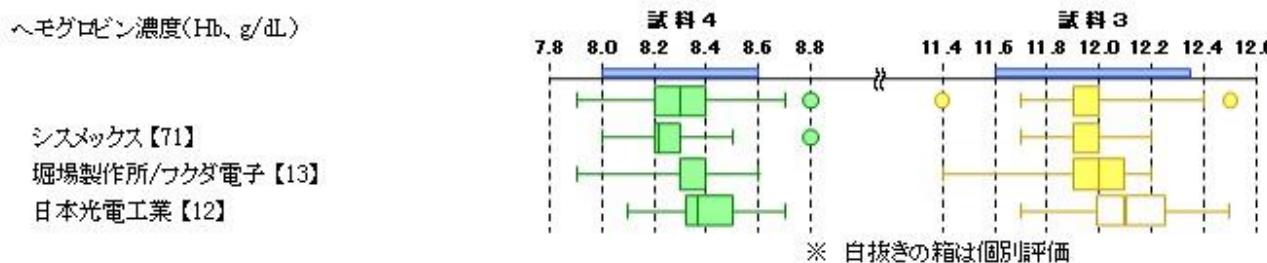
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

33. ヘモグロビン濃度(Hb)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 4					試 料 3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
ヘモグロビン濃度(Hb, g/dL)	95	8.29	0.14	1.7%	1	93	11.97	0.13	1.1%	3
シスメックス 堀場製作所/フクダ電子 日本光電工業	70	8.27	0.12	1.4%	1	71	11.95	0.11	1.0%	
	13	8.32	0.20	2.5%		13	11.98	0.23	1.9%	
	12	8.39	0.17	2.0%			12	12.13	0.25	2.0%

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 試料 個別評価の内訳	(単位)	目標値	平均値	CV (%)		換算SD	最小誤差	許容範囲		評価施設数					
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D	個別	
				評価には網掛を採用 ^{*6}	評価には網掛を採用			-	-	-	-	計			
ヘモグロビン (g/dL)	3	3	11.97	1.5	1.1	0.18	0.1	11.60	12.35	71	12	1	12		96
日本光電	3	3	12.13	1.5	2.0	0.24	0.1	11.65	12.65	7	5				12
ヘモグロビン (g/dL)	4	4	8.29	1.5	1.7	0.14	0.1	8.00	8.60	70	23	2	1		96

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

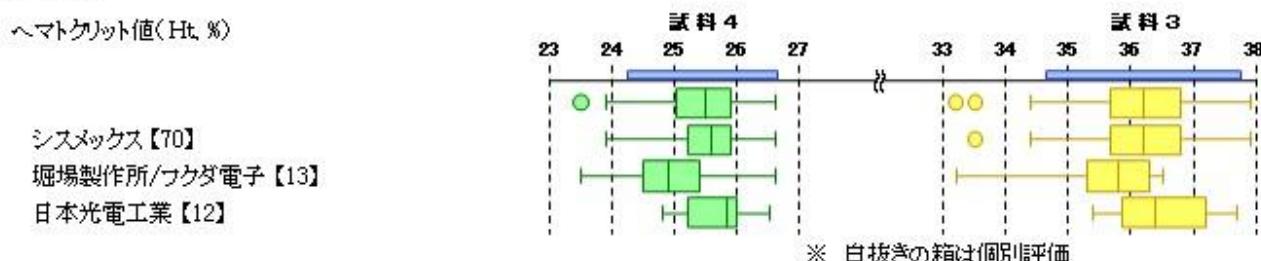
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

34. ヘマトクリット値(Ht)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 4					試 料 3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
ヘマトクリット値(Ht, %)	94	25.47	0.57	2.3%	1	93	36.19	0.76	2.1%	2
シスメックス 堀場製作所/フクダ電子 日本光電工業	70	25.50	0.54	2.1%		69	36.20	0.76	2.1%	1
	13	24.97	0.79	3.2%		13	35.58	0.92	2.6%	
	12	25.68	0.55	2.1%		12	36.51	0.80	2.2%	

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 個別評価の内訳	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差	許容範囲		評価施設数					
				日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D	個 別	
										個 別	-	計			
ヘマトクリット (%)	3	3	36.19	2.0	2.1	0.76	0.1	34.65	37.75	62	26	5	2		95
ヘマトクリット (%)	4	4	25.47	2.0	2.3	0.59	0.1	24.25	26.65	70	23	1	1		95

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)
または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

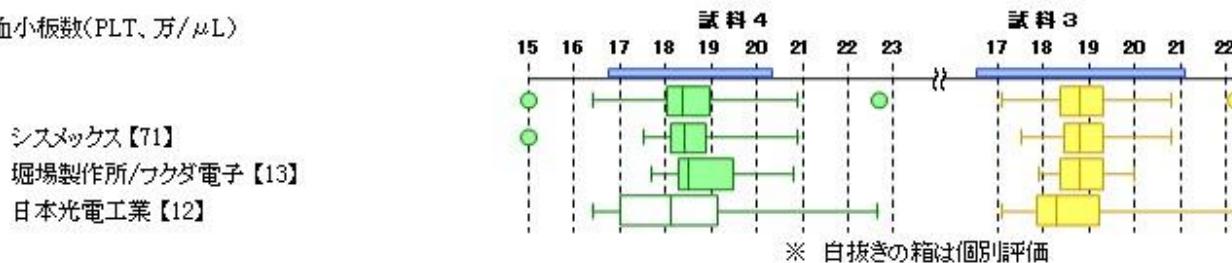
35. 血小板数(PLT)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 4					試 料 3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
血小板数(PLT、万/ μ L)	94	18.57	0.89	4.8%	2	95	18.83	0.73	3.9%	1
シスメックス 堀場製作所/フクダ電子 日本光電工業	70 13 12	18.60 18.91 18.40	0.77 0.92 1.83	4.1% 4.9% 10.0%	1	71 13 12	18.89 18.83 18.75	0.67 0.63 1.49	3.5% 3.3% 7.9%	

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図

血小板数(PLT、万/ μ L)

3) 評価状況

項目名 試料 個別評価の内訳	目標値 評価には網掛を採用 ^{*6}	平均値 評価には網掛を採用	CV (%)		換算SD 評価には網掛を採用	最小誤差 ^{*3} 評価には網掛を採用	許容範囲 ^{*4}		評価施設数 ^{*5}				
			日医 ^{*1}	集計 ^{*2}			下限	上限	A	B	C	D	個別
												-	計
血小板数 (万/ μ L)	3	18.83	6.0	3.9	1.13	0.1	16.55	21.10	84	11	1		96
血小板数 (万/ μ L)	4	18.57	4.0	4.8	0.89	0.1	16.75	20.35	66	12	5	1	12
日本光電	4	18.40	4.0	(10.0)	8.0	1.47	0.1	15.45	21.35	7	4	1	12

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

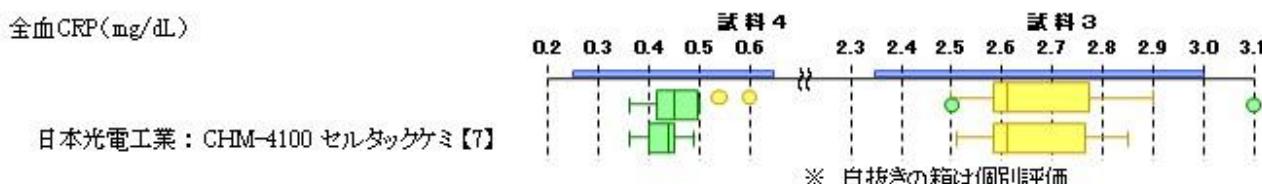
*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

36. 全血CRP

1) 統計表

項目名(略号、単位)	試料4					試料3				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
試薬名【備考】										
全血CRP(mg/dL)	10	0.45	0.05	11.2%	2	11	2.67	0.14	5.3%	2
日本光電工業：CHM-4100 セルタックケミ	7	0.43	0.04	10.3%		7	2.67	0.13	5.1%	

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***			
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D
		個別評価の内訳	評価には網掛を採用*	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用					個別	-	計	
全血CRP (mg/dL)	3		2.67	6.0	5.3	0.16	0.1	2.35	3.00	7	4	2	
全血CRP (mg/dL)	4		0.45	15.0	11.2	0.07	0.1	0.25	0.65	10	2		1
													13

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

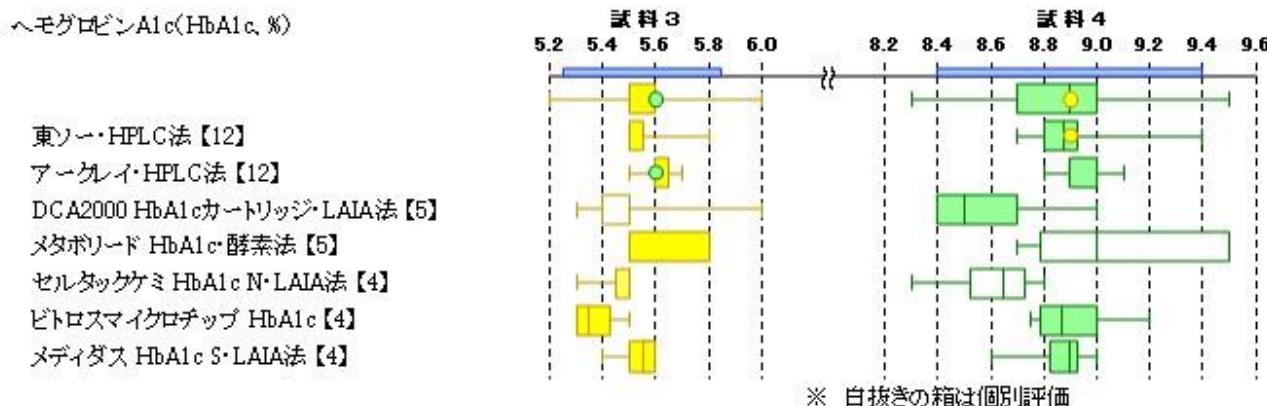
37. ヘモグロビンA1c(HbA1c)

1) 統計表

項目名(略号、単位) 試薬名【備考】	試 料 3					試 料 4				
	n	mean	SD	CV	除外	n	mean	SD	CV	除外
ヘモグロビンA1c(HbA1c, %)	53	5.54	0.14	2.6%	1	53	8.88	0.24	2.7%	1
東ソー・HPLC法	12	5.54	0.09	1.6%		12	8.90	0.19	2.1%	
アーグレイ・HPLC法	11	5.62	0.06	1.1%	1	11	8.96	0.09	1.0%	1
DCA2000 HbA1cカートリッジ・LAIA法	5	5.52	0.28	5.0%		5	8.60	0.25	3.0%	
メタボリード HbA1c・酵素法	5	5.62	0.16	2.9%		5	9.10	0.38	4.2%	
セルタックケミ HbA1c N・LAIA法	4	5.45	0.10	1.8%		4	8.60	0.22	2.5%	
ピトロスマイクロチップ HbA1c	4	5.38	0.10	1.8%		4	8.92	0.20	2.3%	
メディダス HbA1c S・LAIA法	4	5.53	0.10	1.7%		4	8.85	0.17	2.0%	

※ 斜体は個別評価

2) 箱ひげ図



3) 評価状況

項目名 (単位)	試 料	目標値	平均値	CV (%)		換算 SD	最小 誤差*	許容範囲**		評価施設数***				
				日医*	集計**			下限	上限	A	B	C	D	個 別
		個別評価の内訳	評価には網掛を採用**	評価には網掛を採用	評価には網掛を採用									
HbA1c (mg/dL)	3		5.53	2.5	2.3	0.14	0.1	5.25	5.85	37	10	1		5
DCA2000	3		5.52	2.5	5.0	0.28	0.1	4.95	6.10	4	1			5
HbA1c (mg/dL)	4		8.88	2.5	2.7	0.24	0.1	8.40	9.40	36	8	1	9	54
メタボリード	4		9.10	2.5	4.2	0.38	0.1	8.30	9.90	5				5
セルタックケミ	4		8.60	2.5	2.5	0.22	0.1	8.15	9.05	3	1			4

*1 精度管理調査におけるコンセンサスCV(斜体は独自設定)。

*2 コンセンサスCVの2倍を上限とする。

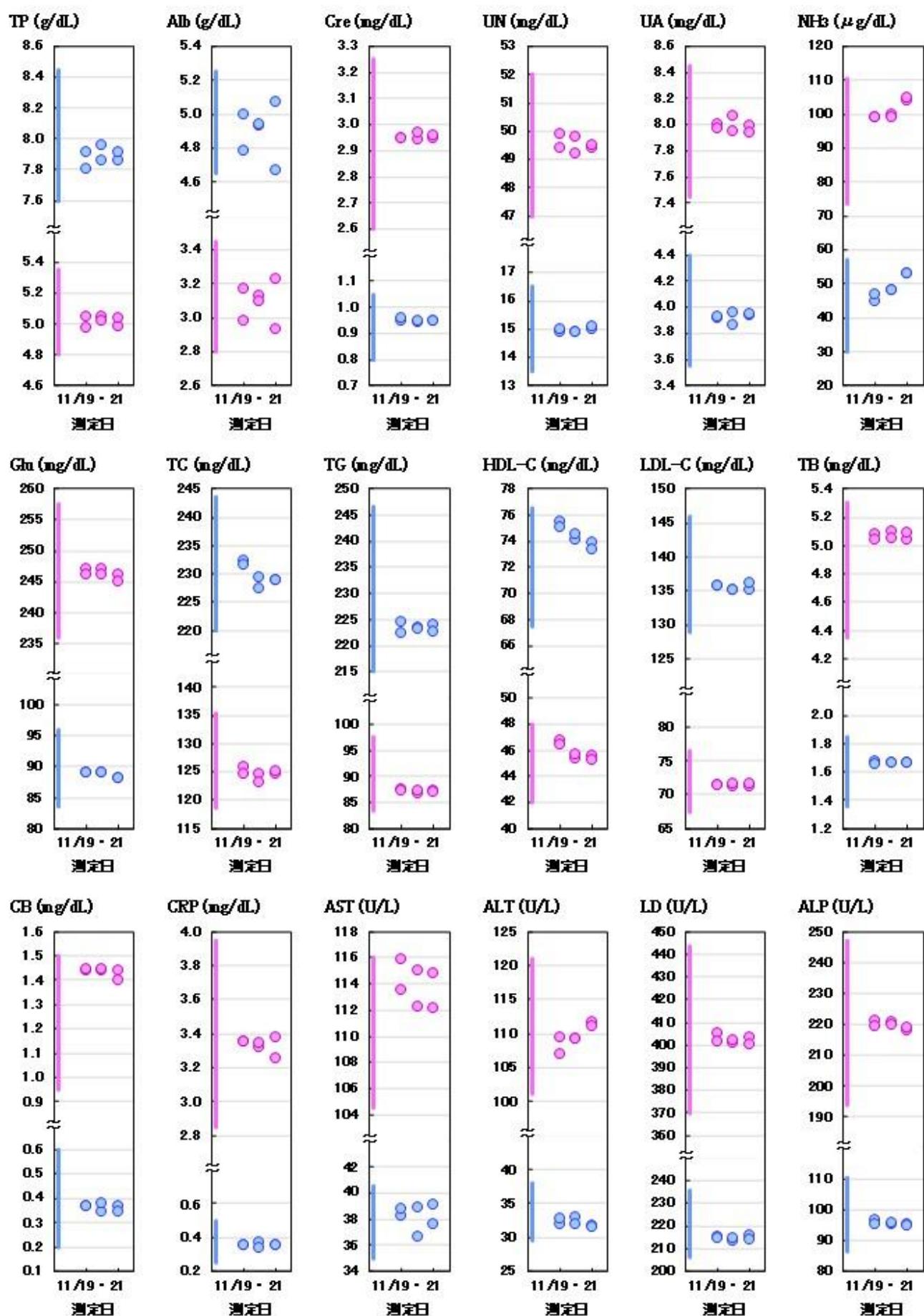
*3 斜体は、報告例に多様性があるため、中間を採用する。(Cre:0.05, UN:0.5, CRP:0.05)

*4 測定値の四捨五入を考慮して、0.5または0.05を限度に、許容下限値は切り下げ、許容上限値は切り上げ。

*5 CまたはD評価が20%以上になる試薬・方法は、試料の性状に起因する可能性があるので、個別評価(n≥3)または評価しない。

*6 目標値と平均値の乖離がコンセンサスCVの1/2以上ある場合、平均値を評価に採用する。

資料. 調査試料の測定値変化



資料2. 調査試料の測定値変化(2)

